



同窓会報



◆発行◆宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎022-221-5651(直通)
 ◆Eメール◆info@sendainiko-dousoukai.com ◆URL◆http://www.sendainiko-dousoukai.com
 ◆印刷◆創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎022-222-0181

第53号



【仙台二高アメリカ研修】（左）ニューヨーク メトロポリタン美術館前 （右）国連ビル前

目次

巻頭言・令和二年度同窓会総会中止のお知らせ	2
令和二年度 書面審議評議員会審議結果報告	3
校長挨拶・前校長寄稿	4
支部総会・同期会等開催報告	5
寄稿	6
理事会からのお知らせ	8
第九回創立百二十周年記念事業実行委員会（メール審議）報告	9
支部・OB会連絡先	10
二〇二〇年度年間行事予定、評議員名簿	12
評議員会報告、理事会等記録	13
一般会計・特別会計二〇一九年度収支決算報告	14
ならびに二〇二〇年度予算	14
会費納入について、各理事会務分担	15
二〇一九年度同窓会費納入状況	16
同窓会入会式・卒業式・入学式の報告	17
定期戦、ゴルフ対抗戦について、	17
寄贈図書、叙勲受章者、新聞紹介	18
過去三年間の大学入試合格状況	19
部活動の記録	20
北陵会・北社会の記録、会員計報	27
今春の人事異動、Webサイト活性化のお願い、	28
メーリングリストの利用について、	28
交通の便、編集後記	28

巻頭言

「偉人／逸材待望論」

同窓会会長 大井 龍司（高10回）



本年二〇二〇年、母校仙台二高は創立百二十周年、人生で言えば大還暦を迎え、十一月十三日にはそれを記念する式典と祝賀会とを催すことになっている。その際には、創立百二十周年を祝うとともに、母校の更なる発展、飛躍を祈念したいと思う。

さて小生は入学式の祝辞など事ある度に、創立当時の先輩諸兄が「幣屋偉人の産地なりせば」と豪語していた旨を紹介している。偉人とは歴史に遺るような極めて優れた人物を指し、それには知力・体力・胆力ともに備わっているものである。しかるにこのところ、母校に限らず新制高等学校の教育には、どちらかと言えば知力の向上を優先するあまり、偉人たるにふさわしい人物が生まれる環境に欠けるきらいがある。

本稿では、国家の盛衰には多くの偉人の輩出、その中でも真のエ

リート（リート）の存否がおおいに関わるということを指摘したい。真のエリートとは、人としてこうあるべきとの原理原則を十分に理解し、すぐれた人間性と並外れた大局観や判断力とを持つ人物のことであり、本来国家や組織はこのような人物をトップに据えるべきなのである。戦前の旧制中学／高校はエリート養成機関の役割を果たし多くの逸材を輩出したが、現状の教育制度ではそれがなかなか難しい。その結果、国や大組織のリーダーに真のエリートの不在を来とし、それがその国や組織の混乱、衰退を招くことになる。憂えるべきは、今やわが国をはじめとして地球上至るところでそれが顕著になっている。

現行の教育制度下でそれをかこつていても仕方がない。わが母校仙台二高の後輩諸君には、わずか三年という短い期間ではあるが、在学中勉学にのみ勤しむのではなく、身体を鍛え胆力を備え、一見受験とは無縁とも思われる一般教養を身に付けて成長し、真のエリートつまり偉人／逸材の予備軍となって卒業してもらいたい。そして将来、わが国の国力低下に歯止めを掛けるリーダーとして成長してほしいと願っている。

「令和2年度同窓会総会中止のお知らせ」

昨年末以降、地球規模で拡大し続けている新型コロナウイルス感染が、残念ながら未だに収束しない状況が続いており、今後の見通しもまったくたっていません。同窓会員諸氏に於かれても、現在さぞ困難な生活を強いられているものと拝察し、衷心よりお見舞いを申しあげます。この新型コロナウイルス感染が1日も早く終息することを願っています。

さて、この非常事態のなか、理事会としては本年度の同窓会総会を予定どおり「招集し開催する（会則第7条2項）」ことは極めて困難かつ危険であると判断し、また仙台二高同窓会のいかなる集会においても感染者を出してはならないと考え、以下のような異例の決定をさせていただきましたのでお知らせいたします。同窓会会則に則れば超法規的措置であることは重々認識しておりますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

「令和2年度同窓会総会を中止いたします。」

この決定については、書面審議で行われた定例評議員会で承認され、加えて「事業及び予算／決算」の承認もいただき、総会が中止になった場合令和2年度の事業計画及び収支予算を執行することも認めていただきました。

なお理事会としては総会を延期することも考えましたが、前述のとおり感染拡大の見通しがたかないなかでの延期はすべきでないと考えました。

同窓会員の皆様には、この新型コロナウイルス禍という非常事態に思いを致し、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。以上

（令和2年6月 理事会）

（附）最近の予期せぬ天災や人災、さらには本稿寄稿後、昨年十二月中国武漢に発症した新型コロナウイルス感染のパンデミック、このような危機に瀕した地球を救うためにも真のエリートによる叡智が求められるのである。

「令和 2 年度 書面審議評議員会審議結果報告」

旧仙台二中・仙台二高同窓会評議員各位

昨年末以降、地球規模で拡大し続けている新型コロナウイルス感染が、未だに収束しないなか、令和 2 年度定例評議員会を、評議員各位に送付した「委任状ならびに賛否一覧表」にご回答いただくという前例のない書面審議で実施いたしました。下記に、その審議結果をご報告申し上げますとともに、今回の書面審議にご協力くださいました評議員の皆様に厚く御礼申し上げます。

記

「回答数：58 名」

第 1 号議案 令和元年度事業報告（付：例年通り）

（賛成（賛否一任を含む）：58、反対：0）

第 2 号議案 令和元年度収支決算報告（付：本会報 14 ページ参照）

（賛成（同上）：58、反対：0）

第 3 号議案 令和 2 年度事業計画案（付：例年通りに創立 120 周年記念式典／祝賀会を追加）

（賛成（同上）：58、反対：0）

第 4 号議案 令和 2 年度収支予算案（付：本会報 14 ページ参照）

（賛成（同上）：58、反対：0）

第 5 号議案 役員改選について（一期 2 年三期目を迎える谷口副会長、宮内／菊池両理事合わせて三名の再選）

（賛成（同上）：58、反対：0）

第 6 号議案 令和 2 年度同窓会総会の開催方法について（付：中止の件）

（賛成（同上）：58、反対：0）

以上、賛成多数をもって全ての議案を承認いただきました。

この結果を享けて、本会報 2 頁の「令和 2 年度同窓会総会中止のお知らせ」にありますように、令和 2 年度の事業計画及び収支予算を執行させていただくことにいたします。

なお書面審議上の第 3 号議案で日時／曜日に誤りがありましたことを深くお詫びいたします。

（令和 2 年 6 月 理事会）

校長 挨拶

「いっあいさつ」



校長 後藤 順一

はじめに、この度の新型コロナウイルス感染症のためにお亡くなりになりました皆様のご冥福と、罹患されました方々の一刻も早い回復を心からお祈り申し上げます。また、この世界的な危機に際し、日々勇敢に、自らを省みず、患者の皆様への回復のためにご尽力されております本校同窓生の医療関係者、保健所等の職員の皆様の勇気に敬意を表し、心から感謝申し上げます。さて、私ごと、この度宮城県仙台市第二高等学校第二十六代校長を拝命いたしました。

私は本校創立八十周年時に生徒として在籍し、百周年時に教諭として在職しました。そして、この度百二十周年を母校で迎えることができますという栄に恵まれました。その喜びを、本校に在籍する生徒の皆様のために、全身全霊を傾けて教育活動を推進してまいりたいと考えております。

創立八十周年の頃は、高校入試における仙台地区南北学区制、大学入試においては共通一次試験が始まった頃でした。また、宮城県沖地震が起こり、新校舎（現校舎）建設に進んだ時期でもありました。百周年の頃は仙台市の人口が百万人を超えた時期ではありませんが、少子化問題が取り上げられるようになり、県教委の将来構想素案の中で高校の統廃合や男女共学化が盛り込まれることになりました。私の教諭としての最終年度は次年度からの本校共学化準備となりました。そして、百二十周年を迎えるこの十年間は東日本大震災をはじめ、自然災害が続き、今回の新型コロナウイルス感染症拡大による世界的な危機に直面することになりました。このように歴史には様々なことが刻み込まれてまいりますが、その歴史の中で確実に我々人間は危機や困難を乗り越えて次の時代を創り上げてまいりました。

今、母校に帰り感じることとは、人間としての主柱を形成する環境として大きな役割を果たすのが母校となる高校ではないかということであり、人間としての魂、人間力の形成には母校の存在（帰属意識）と脈々と引き継がれた独自性

（アイデンティティ）が影響を与えるものと思います。したがって、教師と生徒、または生徒間の「敬愛切磋」こそが、本校の真の教育力ではないかと思っております。その教育力をもって生徒の総合的な人間力の形成と、その形成された人間力の基盤の上に、それぞれが持つ個性・感性・特性の伸長を図り、グローバル社会のリーダーまたはクリエイターとなるべく人材の育成に努めてまいりたいと考えております。

今年度のスタートは学校としても、教育力を十分に発揮することができない状況にあります。生徒にも話しておりますように、不謹慎な意味ではなく「ピンチをチャンスと捉える」教育活動を今後しっかりと、そして確実に展開してまいりたいと考えております。どうか学校を支える力として同窓生の皆様にもお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後となりますが、仙台二中・二高同窓会の益々の御発展と同窓生の皆様の御健勝をご祈念申し上げます。今後とも宜しく願っています。失礼とはなりますが、追記として、平成十年度以降の十年間に卒業しました同窓生の皆さん、化学の後藤が戻ってまいりましたので、母校へお立ち寄り近況をお聞かせ願いたい」とのことをお伝えします。

寄稿

「退任の挨拶」



前校長 久保 義洋

二年間という短い期間でしたが、大井龍司同窓会長さまをはじめ同窓生の皆さまには、大変お世話になりました。皆さまの温かいご支援により、無事職責を果たすことができました。大過なく過ごせたことにホッとする一方で、もう仙台二高と直接関わることでできない寂しさを、今感じています。

二年間の在職中、各地の同窓会に参加させていただきました。県内の北校会はもちろんのこと、北は岩手県から南は長崎県まで、さまざまな地域を訪れることができました。どの地域の同窓会も土地柄をよく反映した個性豊かな楽しい会でした。また、参加された皆さまの母校仙台二高に対する熱い思いも、直に知ることができました。特に、会の最後で校歌や「雨か嵐か」を、声高らかにそして誇らしげに歌う皆さまの勇姿には、本当に胸が熱くなりました。同時

に、「校長、しっかりやれよ！母校を頼むぞ！」との無言のエールをいただいている気がして、身の引き締まる思いもしました。

皆さまからのエールが力になることは、生徒たちについても同様です。一例として、十一月に行われる北校会を挙げるのがよいのかもしれません。この会には毎年数人の生徒たちが招待され、なぜ仙台二高を選んだのか、今後の進路をどう考えているのかを話すのが恒例でした。そのメンバーを選ぶとき、私は生徒会長と応援団長以外、その年に心に残る活躍をした生徒を選ぶことにしていました。

選ばれた生徒たちは、期待を裏切ることなく臆せず自分の考えを話し、質問にも自分の言葉で明快に答えていました。一時間弱にわたるパネルディスカッションが終わると、生徒たちは各テーブルに分かれて座り、三十分ほどの歓談を行うのですが、後で生徒たちに感想を聞くと、先輩方と接する時間をもう少し長くして欲しかったと話していました。それほど、皆さまの声は生徒の心に届いておりました。

私は、教員や家族、友人を除いて、どれだけ多くの人たちと交わ

ることができたかが、生徒たちの成長に大きく影響すると信じています。若者は手をかければかけただけ力強く、そして心豊かに成長するものです。今後社会の指導的な役割を担うであろう二高生にとって、三年間という限られた時間の中で、自分たちの世代と異なる世代の方々と交わる経験は、大変意味があることです。自分の力だけで育ったのではないことを知ること、そして目標となるべき存在を得ることは、物事を真摯にとらえ、謙虚に行動できることにつながります。

各地の同窓会に参加すると、多くの皆さまから仙台二高が社会から高い評価を得ていることを喜んでいただけます。「俺たちの時代とは違う学校になった」という話もされます。しかし同窓生の皆さまがご自身の高校時代を満喫したという礎があるから、今の仙台二高があるのです。仙台二高の大きな支えとなっています。どうかこれからも、皆さまの母校仙台二高をよろしく願います。

本当に二年間、お世話になりました。ありがとうございます。

支部総会等 開催報告

支部総会報告

東海北陵会の 現状報告

佐山 泰弘（高10回）

令和元年十月二十六日に、名古屋市内で第二十四回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。

久保校長先生はじめ、阿部同窓会副会長、鈴木事務局長の三名をお迎えし、高6回～高53回の皆さん、計十六名が参加した。

決算報告をはじめ、三件の議題が審議され、いずれも、原案通り、承認された。

総会後、出席者の最高齢である平井さん（高6回）の音頭で乾杯し、懇親会に移行した。

暫し歓談が行われた後、久保校長先生から「仙台二高学校通信・北陵の四季」の資料をもとにした、校内活動の紹介があり、現在、二高は良すぎる位、勢いに乗っているとの説明があった。

次いで、阿部副会長と鈴木事務局長から、更に詳細な紹介があり、参加者全員が十分に理解する事ができた。

この間、各自テーブルに次々に出される料理と飲み放題のアル

コールを堪能しながら、会員同士の和やかな歓談が進められた。

歓談の途中、話題提供として、千葉顧問（高9回）から、「東海北陵会設立の経緯」、菅原さん（高24回）から、「海外赴任こぼれ話」、久保さん（高8回）から、「世界の政治の動き」の解説があった。

懇親会の最後には、元応援団長の栗原さん（高53回）の指揮の下、全員で「雨か嵐か」「凱歌」「校歌」を力強く歌い、有意義な総会・懇



第24回東海北陵会総会・懇親会参加者

親会を終了した。

散策の会

令和元年六月八日に「美濃路西枇杷島祭り」を見学した。街道は両側から露店が軒を連ね、人波に溢れていた。その中を旦那衆に支えられた豪華な山車が、祭囃子を奏でながら引廻され最高の盛り上がりを見せる。まさにこの地方の初夏を彩る祭りである。

庄巻は街道に面した老舗町屋二階座敷から間近に山車を眺めながらの旨い酒と料理。思い出深い研修会となった。以上

化学部 OB会を開催

麻田正治記（高23回）

去る十一月二日秋保温泉ホテル佐勘において化学部OB会を開催しました。

これは隔年で開催していた高21・高22回生が行っていたOB会に高23回生が加わったもの。四回目となる今回は、高21回生三名、高22回生七名、高23回生八名の参加となりました。毎回、北海道から関西まで全国各地に散らばった仲間が集まります。

早や五十年の時間が過ぎ、姿、貌は多少変わったものの、会えばたちまち高校生に戻り（気分だけですが）話しに花が咲きました。各人の近況報告のあと、必ず話題となるのが、新入生の通過儀礼で



ある化学部伝統のビール瓶洗い。これは実験器具の正しい？洗浄方法を学ぶために先輩諸氏が丁寧に汚してくれたビール瓶をブラシで洗い、きれいになるまで帰宅できないという過酷なもの。誰それ先輩はすごく厳しかった、いや誰それ先輩はもっと厳しかったと話が尽きませんでした。当時の写真をスライドで見ながら、今だから言える失敗談・武勇伝、同窓の某部とのささやかな境界紛争、文化祭での甘く苦しい思い出などなど話しは尽きることなく深更まで続きました。翌日は元のおじさんに戻り、名頃惜しくはありますが次

回健康で再会しようと約束し散会しました。

福島北陵会

阿部 力哉（高3回）

平成から令和の時代になり、令和元年七月二〇日に例年通り福島市内の蜂亀で当会総会が行われました。同窓会本部から久保校長と阿部孝一副会長が出席の予定でしたが、校長先生に不幸ができたため欠席されました。

阿部副会長から本年度の同窓会活動についての報告があり、この中で同窓会費の納入率が悪いので大井会長から寄附のお願いもありました。今回は前年より参加者がやや増えて若い世代の人の出席もあって、実になごやかに旧交を暖めることができました。会が終わって校歌、凱歌を声高らかに歌って解散しました。

十一月三〇日には郡山のホテルバーデンで夫人同伴の一泊忘年会を行いました。参加者は少なかったのですが、夜はカラオケ、翌朝はホテル裏のグランドゴルフ場でプレーを楽しみました。

いま日本は新型コロナウイルス感染拡大の真只中にあります。これは全世界に拡散してパンデミックの状態です。四月八日に緊急事態宣言が出されて私達高齢者の感染は重症化、死亡の確率が高いの

で、戦々恐々の毎日です。とうとう福島市内にも感染者が出ましたが、一刻も早い終息を祈るばかりです。（令和二年四月十五日記）



寄稿

注：昨年十二月に発行した北陵ニュースレター第六号にて「会報原稿の募集・字数制限のお願い」をしましたが、以下の「寄稿文」はそのニュースレター発刊前に入稿されましたので、原文のまま掲載させていただきます。（理事会、会報広報委員会）

仙台二高を巡る 思い出あれこれ

佐藤 健二（高26回）

父の百歳表彰を機に蘇った
私の二高入学への両親の想い

令和元年九月、私の父は百歳の表彰を受けた。彼は二高に程近い川内大工町で生後十六日目に父親を病気で亡くし、母親は仙台平の織手として働き、その帰りをご飯炊きして待つという寂しい少年時代を送った。学校は高等小学校卒業後、就職に有利な宮城県立工業に進んだ。息子の私には口にし出さなかったが、進学コースの学校である仙台二高の前身・旧制仙台二中学生の登下校に出くわした時、眩しい視線を向けていたことは想像に難くない。

片や私の母は九人兄弟姉妹の上から三番目として、宮城県北の農家に生を受けた。尋常小学校卒業後は高等女学校に進み、十五歳で上京し、日中は病院で看護婦の見習いとして働き、勤務終了後は資格取得のため夜学に通った。

両親の共通点は大正生まれで、家の経済事情で進学コースの学校を断念せざるを得なかったことだ。それへの反動として、息子である私の進学先への期待は、いやがうえにも高まることとなった。

私が中学三年になり進学する高校を決める段階では、迷うことな



百歳の表彰を受けた父（左）と筆者（右）

く二高志望とした。この決断は、当然、父から大きな喜びを持って迎えられた。また当時兄が二高の三年に在学中で、歴史、伝統、校風、名物先生などの話を事あるごとに聞かされていたことが、志望の大きな要因になったことは確かだ。

母の方とはといえば、二高志望に大反対した。理由は、当時の私の出身中学では、学年で一番から三〇番位までは仙台一高、三二番から七〇番位までは仙台二高と進路指導されていたが、私の席次は一高受験圏内に十分入っていたからだ。

であれば、当時、県内トップ校であった一高を受験しない手はないと母が思ったとしても不思議はない。結果的に母の反対を押し切り二高に入学したが、彼女が



「仙台二高校舎」（現校舎の写真よりスケッチ画に作成）

九十四歳で亡くなる四・五年前まで、「あの時、一高に入らなくて残念だった」と事あるごとに愚痴を言われ、ほとほと閉口した。しかし、私は二高に入学できて本当に良かったと思っている。

蛇足だが、私の所と両親の想いが全く逆の場合、すなわち、以下のパターンは現実にあったのだからかと関心を抱いている。父親が宮城県内の高校入試が学区制移行前の仙台一高出身で、息子にも自分と同じく一高入学を勧めている。ただし、息子の受験は学区制移行後で、県内トップ校の座は一高から二高に移っており、しかも息子は二高合格圏内の実力を持つ

ている。母親は迷うことなく、県内トップ校の二高入学を願う。最終的に息子は母親の希望通り二高に入学する。さて二高OBの皆さんの場合はどうだったのかと気になるところではある。

二高の名物先生について

まず、第一に思いつくのは、高校一年時の昭和四十六年、地理を担当された花房先生だ。機会があつて、地元新聞の「読者のコーナー」に先生に関する投稿をし、掲載されたので、以下に原文のまま、紹介する。

本誌（令和元年）八月二十二日の社説「十代の自殺」を読み、高校一年だった時の社会科担当の先生を思い出した。型破りな授業スタイルで知られていた。時間の半分以上を教科と無関係なテーマに費やし、残り時間に本来学習する教科内容の要点を記したプリントを配布し解説した。テーマはおおむね二つで一つが「死後の世界」。

その中で最も時間を割いたのが「自殺防止」だった。この世のつらさから逃げ、自殺しても成仏できず、より大きな苦しみが襲ってくるので、何とか自殺は回避してほしいと強く訴えていた。当時、私が定期購読していた受験雑誌に「死後の世界」の特集記事があり、先生に見せたいという思いから、それを職員室の机にメモを付けて置いて来た。すると、先生は

私が悩みを抱えて相談しに来たと思ったのか、校内放送で職員室に来るよう指示してきた。「十代の自殺」が今ほど話題に上らなかつた時代にもかかわらず、危機感を持ち、自ら相談役を担おうとした先生の姿に深い感銘を受けた。と同時に、記事を置いていった理由を知った先生の表情から優しさを強く感じたのだった。

花房先生の話は、二高在学中よりむしろ社会人になってから壁にぶち当たる度に思い出され、感謝してもしきれないほどである。担当教科にとどまらず、命の教育までしてくださった先生には、改めて深く敬意を表したい。名物先生は花房先生以外にもいらっしゃったが、紙面の都合上割愛する。

『雲南紀行』

河合絹吉著

佐々木武夫（高4回）

本文『雲南紀行』その三

旧宮城県仙台第二中学校第五代校長

河 合 絹 吉 著

※○内の注記は、紹介者、佐々木武夫による。

『雲南紀行』その二の末尾に、次回は赴任地の雲南に到る行路の難紹介と予告しましたが、その前に支那に渡って最初の大晦日と元日をどう過ごされたかの記録を紹介します。

明治三十八年十二月三十一日、

（前文略）支那の国家も地図にて見れば東亜の一大国なれども詳細に極むれば西藏、四川、長江一帯は英国の勢力範囲、広西、雲南は仏国に、蒙古及びその西部は露西亜に、山東は独逸に、満州、福建

は我国にいずれも特種権を奪われて遠く地図にて見たる程にはあらず。支那美人も近付けば白粉（おしろい）のふきたる様な厚化粧に

臙脂（黒みのある濃い紅色）のむらも見え、その上、風呂を知らざる故、生まれたままの垢、背中にうず高きことなるべし。建築物もまた然り。近付けば、不潔と臭

気とにその美を埋没す。（この当時、我が国においても、たとえば風呂の同じ湯水を連日使用した後、畠の肥料に利用したり、トイレはくみ取り方式が一般的で、それを田畑の肥料として活用したりと、一概に蔑視できるものではないが。）——中略

安江司にて船に乗る。ここで米、野菜、肉などを求む。黄鶏（羽の色が柏の葉の色に似ているからと言われる。特に雌鶏の肉が美味という）の雌鳥二羽にて四百文なり。

川辺の洲に飯屋を作り、糧食や菓子などを売る。そこを出れば行く手の左に奇岩あり。遠くこれを望めば大いなる石碑のごとく、近づけば舟の帆に似たり。風蓬岩と名付く。写して画帖にあり。今宵は大晦日なりとて汾酒を酌みて歳

を送る。歳暮の前とて歌を詠む。

唐国^{からくに}の 川辺の真草^{まかし} 折り敷きて 暮れ行く歳を 送りける哉^{かな} 下の句あるいは「惜しみける哉」とすべきか。

酔ふて早く寝る。船は、是溪に泊まる。明治三十八年はこれにて暮れたるなり。

惜しめども いま行く駒の 足早み 今日ぞ今年の 限りなりける

今宵は種々雑念浮かび来たりても寝られず。来し方行く末、故郷のこと、鎌倉（奥さんや前勤務校や友人など）のこと、寝られぬままに考ふれば、いよいよ絶え間なし。夜半過ぐるも寝られず。鶏の歌う頃まで目覚めたりしが、夜明け方少しく眠る。

明治三十九年一月一日、半曇り順風、寒暖計華氏四十三度（摂氏6度）、今朝は、日本ならばなど人々語り合ふて、迎年仕度も心ばかりなり。今日は支那服も如何とてわざわざ羽織など取り出して着る。昨日、ひげだけは剃りしかばせめて手足だけなり拭かんとて第一番に起き出でて冷たき河水に身体をぬぐふ。ここ連日、雨か雨ならざれば雪、雪ならざれば曇りにて日影（日光）を見ること能はざ

りしが、今日は久しぶりにて麗らかなる初日を仰ぎ得たり。天我等にめでたく新年を祝へとの意ならんか。

かねて漢口より持ち来たりしビール、今日のためとて大切に貯へ置きしを取り出し、三人、杯を挙げて君が代を祝す。下物（酒のつまみ）としては豚のすき焼き、福神漬け、牛の缶詰等なり。なにかに付け話は東京の空、故郷の事どもなり。日本でも今日は元日ゆえ一人二人は、吾等の噂もせんなど語りて慰む。改まりて互いに新年を祝するもをかし。今日は流石に皆打ちとけて語る。食後、余一人船首に立ち、日のある方（日本）に打ち向かひ、君が代再唱して遥に帝国の万歳を唱ふれば支那の山河ために震動す。新年の歌あり。

あかねさす東の空を打ち仰ぎはるかに祝ふ君が御代^{みよ}かな 下の句、はるかに呼ばふ君が万代^{よろよ}とすべきか。

あら玉の年立ち返る初春を山川の瀬にむかへけるかな

都には今朝吾立つと唐国（からくに）の川辺に立ちて君が代歌ふ上の句、今朝年立つとなす方穩やかならんか。

今日は、一人船を下りて川辺を逍遙す。（中略）

この辺の河原に石炭の転々たるを見る。山にも炭層の露出らしきも見ゆれど確かにそれとは言い難し。河原に石炭のあるより見れば必ず近くに炭層あるは確かならん。昼過ぐるころに川辺に今時美しき紅葉のあるを見る。散りかかりて道もなかば紅なり。

道もせに散りしく野辺の紅葉はたれが手染めの色にやあるらむ

洪江に着きしは午後三時過ぎなり。河の三叉にあり。二方に河を有し、後方に山を控へ、風光、交通共に可なり。この対岸に一叢茂る竹藪あり。その傍らに一際目立つ家の門前に樹上高く赤旗翻る。中央に「李」と白く染め抜けり。このあたりの砲船、何れも満艦飾をなす。その何ゆえなるかを知らず。今日は一月一日なれども、支那は旧暦なれば別に祝するはずもなし。他事ながら人々怪しむ。李は、門前に赤旗あるは昨日彼の家に嫁入りありしなりと誠しやかにいふ。後にて聞けば、李と言へるは水師營の統帶李洪斌と言ふ人の家にしてこの赤旗も満艦飾も砲船より打ちし祝砲も皆余等一行を歓迎のためなりしなり。

段（ボーイ）に夕食の用意を命じおきて、郵便局に行く。この日頃書き留めし年始状を投ず。帰れば李洪斌氏来たりて名刺を残し置きて帰れりという。長沙の蘇氏よ

りの手紙により余等の来たるを知り特に尋ね来たりしなり。これにて数々の歓迎もその理由を知るを得たり。（中略）

今夜は、一月一日なればとて色々工夫して雑煮を作る。昨日買ひたる黄鶏の二羽を料理して段（ボーイ）をして餅を買はしめ、白菜、大根等切り入れて作る。この餅は、あたかも日本の投げ餅（棟上げの祝いにまかれる餅）のごとし。昨夜の汾酒（中国山西省汾州産の蒸留酒でアルコール度が極めて高い）と今朝のビールとのため頭の痛む者、下痢をする者などありて、酒はただ（通訳の）李一人飲む。外国にて食ふこの雑煮の味忘れ難し。

今夜は人々打ち解け、都の事ども打ち語りて夜の更くるを知らず。流石に人の性は善なるものなり。（同行の邦人に常に利己的、威圧的に振る舞う人も居たが、元日の祝いということで穏やかな、くつろいだ雰囲気になった）とからの先生の実感であろう。）

以上が支那に渡って初めての晦日、元日の記録。次回こそ行路の大難儀を伝えます。

理事会からのお知らせ

武藤順九氏（高20回）、第69回（令和元年度）河北文化賞を受賞

武藤順九氏は本年一月「彫刻芸術分野における世界的業績および宮城県への貢献」で第69回河北文化賞を受賞された。武藤氏の受賞は同窓会にとっても大変よろこばしい慶事である。

武藤氏（以下、氏）は宮城県出身、仙台二高から東京藝術大学美術学部に進み卒業と同時に渡欧、現在はローマ近郊に拠点を置き世界的に活躍する芸術家である。因みに、氏は現在仙台二高同窓会ローマ支部の支部長でもある。

氏の大理石を素材とする「風の環」シリーズの作品は、二〇〇〇年バチカン市国のローマ法王宮殿に永久設置されるなど、その後も、氏の多くの作品は世界各地で広く世界平和への意義をアピールしてきた。

氏の二〇一一年東日本大震災への鎮魂の思いはことのほか強いものがある。近く石巻市に整備される震災復興祈念公園には、氏制作の3・11慰霊モニュメント（※）が設置されることになっており、また壊滅的な打撃を受けた貴重な

宮城の雄勝石の復興を願う「MY SUZURI 活動」なども受賞の理由になった。

（※）なお昨年創立百二十周年を記念して母校に寄贈された「風の環（CIRCLE WIND）『絆』」はこのモニュメントの縮小版である。



二〇二〇年一月十七日、仙台国際ホテルでの贈呈式で受賞の挨拶をする武藤氏

北陵祭への参加

八月三十一日（土）九月一日（日）に開催された母校の文化祭「第71回北陵祭」に、「同窓会の部屋」のブース展示を行いました。

六名の同窓生の皆様の写真や論説文などの出展のほか、世界的彫刻家の武藤順九氏（高20回生）の全面協力のもと、二〇二〇年の創立百二十周年記念事業の一環として、六月に本校正面玄関に設置された記念モニュメント「風の環（CIRCLE WIND）」を覧いただきました。

また、仙台国際センターやバチカン市国のローマ法王宮殿に永久設置された彫刻作品のパネル等五点を展示しました。

たくさんさんの同窓生・保護者・在校生の方々に来場して頂き、大いに盛り上がったブース展示となりました。

同窓生の皆様、北陵祭は母校を訪れる大変良い機会と考えますので、是非、創立百二十周年を迎える今年の北陵祭には、多くの同窓生の参観を心よりお待ちしております。

同窓会員DB整備 ご協力をお願い

同窓会報第52号をご参照のうえ、ご協力よろしく願います。

「第 9 回創立120周年記念事業実行委員会(メール審議)報告」(令和 2 年 5 月 3 日)

今回の実行委員会は COVID-19 の感染拡大の影響を受けて、4 / 27 ~ 5 / 1 に掛けて実行委員および各専門委員会責任者を対象としてメール審議にて行われた。(なお本審議に当たり大槻総務部長に大変ご尽力をいただいた。)

まずは新年度にあたり宛職委員が変更され、とくに後藤順一新校長が参与に就任、長島元校長、久保前校長に引き続き三代目の参与ということになる。その他 PTA 関連 6 名、学校関連 9 名、事務局関連 4 名と大幅に委員が交代した。

①案内状(記念式典、記念祝賀会、周年史頒布)関連事項

- ・PTA 会員、PTA 役員ならびに県教委/学校関係へは 7 月に発送し 8 月末日締め切り、同窓会員へは 6 月に同窓会報に同封して発送し 8 月末日締め切りとした。
- ・前回まで未定であった事項を以下決定した。
 - @ 加藤久氏による記念講演の演題は「至誠に生きる」。
 - @ 祝賀会(着席)会費¥6,000 は当日会場受付にて申し受ける。
 - @ 周年史購入代金(¥1,300)のみ払込取扱票にて事前支払い、郵送される(下記⑤参照)
 - @ 案内状に「注 なお記念式典/祝賀会開催が変更される可能性がありますので、予めご了承ください。」を付記。

②総務委員会関連事項

- ・11 / 13 まで COVID-19 収束(終息)が危惧されることから、記念式典で配布される記念品「扇子」の準備を当分見合わせることにした。

③記念式典委員会関連事項

- ・本委員会委員が加藤久氏(高 27 回、元サッカー日本代表、FC 町田ゼルビア未来プロジェクトリーダー、NPO 法人ヴィクサーレススポーツクラブ理事長)と直接連絡を執り細部を詰めた。

④記念祝賀会委員会関連

- ・本委員会委員が天道清貴氏(高 53 回)の事務局と直接連絡を執り細部を詰めた。

⑤周年史委員会関連事項

- ・予定された原稿の入稿が進み、筐氣出版印刷に発注した。
- ・表紙/裏表紙のデザインを決めた。
- ・価格は 3000 部(仮)印刷として「単価+払込取扱票手数料+送料」とから一部¥1,300 とし、購入代金払込済各位には郵送される。
- ・委員間で「男女共学事項」の取扱に関して議論があったが「周年史は歴史を正しく後世に残すもの」であることから客観的に記述することとした。

⑥データベース整備委員会関連

- ・委員会としては、従前どおり DB の充実に鋭意努力している。

次回第 10 回実行委員会の開催は未定。

(文責：実行委員会会長ならびに大槻総務部長)

「創立百二十周年史」発刊

創立百二十周年記念事業実行委員会では、記念事業の一環として「創立百二十周年史」を記念式典が開催される 11 月の刊行を目途に編集を進めています。

これは平成 12 年 10 月に刊行された「仙台二中二高百年史」の続編として 2001 年から 2020 年の母校の歴史をまとめたものです。予約販売となりますので購入希望の方は、8 月 31 日まで同封のはがきにて申込みの上、払込取扱票にて代金納入をお願いします。(頒布 価格：1,300 円)

支部・OB 会連絡先

●支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	旦 英夫 (高20)	旦 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
ローマ支部	武藤 順九 (高20)	武藤 順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA
チューリッヒ支部	武田 靖 (高17)	武田 靖 (高17)	Rebmoosweg 75E, 5200 Brugg, +41 56 442 2321 +41 79 199 4506
北海道支部	調整中	調整中	
青森県支部	新山 龍治 (高22)	新山 龍治 (高22)	〒030-0845 青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	吉江 信博 (高21)	橋浦礼二郎 (高23)	〒020-0103 盛岡市西松園1-9-2 019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高9)	栗野 学 (高26)	〒990-2461 山形市旅籠町3丁目2-3 023-631-0001
福島北陵会	阿部 力哉 (高3)	益田 芳幸 (高3)	〒960-0111 福島市丸子字沢目17-2 024-554-5920
在京同窓会	上條 努 (高24)	練生川淳志 (高30)	〒152-0021 東京都千代田区神田 淡路町1-1 神田クレストビル304(株) オール・エージェント内 03-3527-1955
東海北陵会	佐山 泰弘 (高10)	岩田 繁 (高19)	〒467-0024 愛知県名古屋瑞穂区 春山町15-4 101 090-8866-2372
関西北陵会	鈴木 武 (高20)	川幡 公章 (高26)	〒672-8091 兵庫県姫路市飾磨区 英賀保駅前町72 プリート202 090-7716-3643
広島支部(休会中)			
九州北陵会	菅原 俊秀 (高10)	黒田 均 (高36)	〒803-0826 福岡県北九州市小倉北区 高峰町5-7
気仙沼支部	調整中	調整中	
志津川支部	高橋 長偉 (高11)	高橋 長偉 (高11)	〒986-0741 本吉郡南三陸町志津川十日町1 0226-46-2041
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高8)	後藤 宗徳 (高29)	〒986-0827 石巻市千石町2-10 石巻グランドホテル気付
加美支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	〒981-4254 加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	庄子 文康 (高25)	〒985-0005 塩釜市杉の入3-11-1 022-365-6435
黒川支部北陵会(休会中)			
岩沼支部	四倉 政美(高10) 芳賀 盛(高18)	渡辺 和雄 (高21)	〒989-2461 岩沼市長岡字上根崎2-3 0223-24-1614
亘理会	手戸 雅己 (高15)	手戸 雅己 (高15)	〒989-2351 亘理郡亘理町字五日町 60-1 0223-34-1750
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	〒981-1505 角田市角田字町65 0224-63-1331
登米・栗原・南三陸支部	日野 宏 (高24)	佐藤 豪 (高21)	〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘4-35-5 022-275-2505

●職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	石川 浩史 (高32)	利 大作 (高41)	〒981-3341 富谷市成田6-3-3 022-279-3478
宮城県庁仙台二高養賢会	吉田 計 (高30)	佐藤 仁 (高45)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1 宮城県総務部人事課 022-211-2226
仙教委北陵会	佐藤 貢 (高31)		
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)	星 史雄 (高37)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 3-2-17 (株)藤崎 人事部労務担当 022-261-5111
宮二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	〒982-0252 仙台市太白区茂庭台4-23-5 022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鵜飼 克明 (高28)	〒982-0802 仙台市太白区八木山東2-3-7 hokuryo.dr@gmail.com

●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正行 (高28)	谷田部達博 (高41)	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	氏家 勝 (高27)	加藤幹太朗 (高61)	〒981-0923 仙台市青葉区東勝山3-28-10-202	090-7667-3131
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12 GMビルディング9F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	西嶋 康雄 (高21)	佐久間正光 (高21)	〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘2-12-14	022-275-9087
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)			
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	庄司 正春 (高21)	丸森亮太郎 (高50)	〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町2-5	022-223-1221
仙台二高ラグビー部 OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング部	小栗 康次 (高13)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市新南町55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高スキー部 北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部				
仙台二高北陵柔道会	柔道部	佐々木優登 (高16)	鈴木 裕 (高27)	〒984-0836 青葉区新坂町3-19	022-271-3682
仙台二高剣道部 OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	手嶋 泰伸 (高54)	〒989-8007 仙台市泉区虹の丘2-4-13	090-4550-8041
仙台二高弓道部 OB会	弓道部		山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	穴戸 義一 (高22)	笠原孝一郎 (高54)	〒349-0212 埼玉県白岡市新白岡9-12-20	090-4553-4201
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	鈴木 登 (高17)	伊藤 一郎 (高25)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1番地 宮城県仙台第二高等学校 合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部				
仙台二高応援団 幹部OB会	応援団	田中於菟彦 (高15)	田中於菟彦 (高15)	〒986-0912 仙台市青葉区天守台 青葉城本丸会館	022-222-0218
二吹会	吹奏楽部 (ブラスバンド部)	松永 雄治 (高12)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-1201	090-4044-1234
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0803 青葉区国分町3-9-7-2703号	022-222-1720
	体操部	鈴木 孝 (高24)	鈴木 孝 (高24)	〒985-0072 塩釜市小松崎9-27	090-9637-8652

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

【連絡先】 仙台二高同窓会事務局 〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1
 担当 佐々木恵理 TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686
 月・水・金 10:00~15:00 Eメール/info@sendainiko-dousoukai.com
 同窓会ML/nikodousoukai@googlegroups.com(詳しくはp32)

2020年度 年間行事予定

<同窓会公式行事>

日 時	行 事	
4 / 8 (水)	入学式	
5 / 9 (土)	硬式野球定期戦	5月は中止 可能なら延期
	三部定期戦 軟式野球定期戦	5月は中止 可能なら延期
5 / 24 (日)	同窓会評議員会	書面審議
	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	中止
7 / 4 (土)	同窓会総会	中止
8 / 29 (土) 30 (日)	北陵祭	
11 / 13 (金)	120周年式典祝賀会	
1 / 22 (金)	P T A 同窓会合同懇親会 (P T 同懇)	江陽グランドホテル
2 / 28 (日)	同窓会入会式	
3 / 1 (月)	卒業式	

<理事会> ※原則毎月第3水曜日 18:30 北陵館
 4 / 22 5 / 20 6 / 17 7 / 15 8 / 19 9 / 16 10 / 21
 11 / 18 12 / 16 1 / 20 2 / 17 3 / 17

<支部会／OB会／同期会>

日 時	行 事	
5 / 9 (土) 17:00	定期戦祝勝会	中止
5 / 17 (日) 17:00	在京若手交流会	中止
6 / 6 (土) 17:30	宮齒二高会	中止
6 / 20 (土)	九州北陵会	中止
6 月	岩手支部	
6 月	登米栗原南三陸支部	
7 / 11 (土)	福島北陵会	
7 / 18 (土)	亘理北陵会	中止
8 月	岩沼支部	
8 月	北陵ドクター倶楽部	中止
9 月	山形北陵会	
10 月	東海北陵会	
11 月	岩手一高・二高合同同窓会	
11 月	塩釜北陵会	
12 / 13 (日) 12:00	在京同窓会	
3 月	関西北陵会	

評議員名簿

回期	氏 名
中42	和賀井敏夫 南條 信郎
中44	石井 敏夫
中47	佐々木一弘 坂田 正雄
高2	朝倉 亮 吉田 敏樹
高3	高橋 正道 安達 剛
高4	毛呂 達夫
高5	菅原 正人 高橋 清人
高6	土岐 満夫 鈴木 文夫
高7	藤野 尚之
高8	奥山 隆生 後藤 潮
高9	相澤美智雄 石田 武彦
高10	四倉 政美 佐野 伸義
高11	高石 祥二 鈴木 邦夫
高12	米竹 隆
高13	高橋 和男 菅野 昭雄
高14	磐井 裕 笹氣光寿郎
高15	近藤 尚武
高16	坂本 正憲 堀内 登

回期	氏 名
高17	高橋 賢 佐藤 裕洋
高18	梅津 珪三 前野 文男
高19	庄子 友康 遠藤 謙治
高20	半田 賢 中島 俊和
高21	内藤 清秀 吉田憲三郎
高22	菊田 健三 熊谷 晴樹
高23	大友 史祥 小野寺満明
高24	沼倉 和彦
高25	斎 基之 原 敏紀
高26	木村 清 角田 哲
高27	高橋 芳郎 千葉 宏
高28	岡崎 正行 鶴飼 克明
高29	稲辺 和彦 永見 幸久
高30	渡邊 善夫
高31	太田 康裕
高32	竹田 幸司 伊達 久
高33	松谷 秀則 結城 道広

回期	氏 名
高34	千葉 敏彦 大泉 義典
高35	今野 明典
高36	柳 雅裕 首藤 雅浩
高37	天江新太郎 木村 光博
高38	欠員
高39	日下 開
高40	内田 靖 酒井 紀章
高41	菅沼 恵一 利 大作
高42	欠員
高43	渡邊 勝宏
高44	田所 直希
高45	欠員
高46	欠員
高47	八谷 豊
高48	武田 力也
高49	落合 和希
高50	橘 大介
高51	欠員
高52	欠員
高53	栗原 慶太
高54	三嶋 廣人
高55	欠員
高56	欠員
高57	欠員
高58	相場 峻
高59	蔡 優広

回期	氏 名
高60	柴又 賢史
高61	泉 聖也
高62	添田 敏寛
高63	佐久間俊平
高64	深松 栞 徳永 航平
高65	佐渡 恵奈 佐藤 泰史
高66	坂元 宏司
高67	鈴木 麻優 齋藤 樹
高68	舟生佳奈子 大山 遼
高69	生田目誉也 尾形 眞美
高70	荒井 直人 菊地 雅子
高71	加藤 広大 阿部 柚佳
高72	小野寺 俊 須田 朱音

◆評議員が2名制になっています

平成25年度の総会後から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出していただき、事務局までご一報下さい。また、評議員の方が住所不明で連絡がとれないため、欠員となっている回期があります。

評議員会 報 告

評議員会報告につきましては三頁をご覧ください。

理事会等 記 録

二〇一九年六月十九日（水）

- ・定例評議員会総括
- ・第52号同窓会報総括
- ・定例総会議案／資料整理
- ・総会／PT同懇でのアトラクション謝礼のあり方について
- ・北陵祭の準備状況について
- ・Webサイト掲載記事の理事会確認の定例化の件
- ・創立百二十周年記念事業実行委員会報告
- ・武藤順九氏寄贈記念モニュメント除幕式報告
- ・登米・栗原・南三陸支部設立総会報告
- ・六月北陵会報告

二〇一九年七月十七日（水）

- ・定例総会総括
- ・令和二年度総会三百人達成へ向けた提案
- ・総会／PT同懇でのアトラクション謝礼のあり方について
- ・第52号会報への意見書に対する理事会としての見解

- ・北陵祭の準備状況について（TV番組上映の取扱い）
- ・仙台市役所北陵会報告

二〇一九年八月二十一日（水）

- ・北陵祭の準備状況について
- ・同窓会DBの取扱い（オプトアウトの導入の可否）について
- ・事務局電話への留守電設置について
- ・亘理支部会報告
- ・岩沼支部会報告
- ・福島北陵会報告

二〇一九年九月十八日（水）

- ・北陵祭総括
- ・評議員会議長団の選出方法について
- ・寄付金管理プログラムについて
- ・同窓会DBの取扱い（オプトアウトの導入の可否）について
- ・事務局電話への留守電設置について
- ・北陵ニュースレターについて
- ・クラブ活動助成金について
- ・山形北陵会報告
- ・三九学遊会（チュウリッヒ支部設立準備）報告

二〇一九年十月十六日（水）

- ・北陵ニュースレターについて
- ・第53号同窓会報の字数制限について
- ・PT同懇の準備状況について
- ・評議員会議長団の選出方法について

- ・寄付金管理プログラムについて
- ・寄付者への礼状発送について
- ・同窓会DBの取扱い（オプトアウトの導入の可否）について
- ・事務局電話への留守電設置について
- ・クラブ活動助成金（前倒し及び増額）について
- ・全北陵ゴルフ大会の件

二〇一九年十一月二十日（水）

- ・北陵ニュースレター及び同封書類について
- ・評議員会議長団の選出方法について
- ・寄付金管理プログラムについて
- ・事務局電話への留守電設置について
- ・同窓会入会式でのパワーポイント作成について
- ・男女共学資料提供の可否について
- ・来年度評議員会の日程について
- ・蔵王鎮魂の碑について
- ・創立百二十周年記念事業実行委員会報告
- ・秋の叙勲者の件
- ・十一月北陵会報告
- ・東海支部会報告
- ・在京北陵会報告
- ・岩手合同支部会報告
- ・塩釜支部会報告

二〇一九年十二月十八日（水）

- ・北陵ニュースレター及び会費重複納入問題解消について

- ・寄付金管理プログラムについて
- ・同窓会入会式でのパワーポイント作成について
- ・クラブ活動助成金（増額）について
- ・卒業記念品について
- ・河北文化賞の件
- ・創立百二十周年記念事業実行委員会報告
- ・仙教委北陵会報告

二〇二〇年一月十五日（水）

- ・PT同懇の準備状況について
- ・同窓会入会式について
- ・創立百二十周年史編集の進捗状況について
- ・現役員の任期について

二〇二〇年二月十九日（水）

- ・PT同懇総括
- ・同窓会入会式について
- ・NTT加入権の名義変更について
- ・創立百二十周年記念事業実行委員会報告
- ・奨励会理事会報告

二〇二〇年三月

（メール審議を含む）

- ・同窓会入会式ならびに卒業式総括
- ・第53号同窓会報について
- ・事務局員の時給単価の変更に伴う労働契約書の更新について
- ・今後の同窓会活動（定例評議員会の開催の可否等）について

二〇二〇年四月

（メール審議を含む）

- ・令和二年度定例評議員会及び同窓会総会の開催方法について
- ・定例評議員会議案／資料整理
- ・第53号同窓会報の編集進捗状況
- ・五月以降のHPの管理について
- ・離任式（送別会）及び学校職員の人事異動の件
- ・令和三年度入学式の件
- ・今後の学校行事見通しの件
- ・対一高同窓会ゴルフ対抗戦（中止）の件
- ・創立百二十周年記念事業実行委員会報告

二〇二〇年五月

（メール審議を含む）

- ・第53号同窓会報編集進捗状況の件
- ・五月以降のHPの管理の件
- ・令和二年度 書面審議評議員会審議結果報告

一般会計 2019年度収支決算・2020年度予算

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予算額 (A)	実績額 (B)	(B) - (A)	次年度予算額
収 入 (イ) (イ÷ロ)	前 年 度 繰 越 金	7,899,476	7,899,476	0	8,887,111
	年 会 費	9,500,000	8,579,000	△ 921,000	9,500,000
	(納 入 者 数)	(3,167 人)	(2,860 人)	(△ 307 人)	(3,167 人)
	年 会 費 納 入 率	21.8%	19.9%		21.8%
	入 会 金	1,100,000	1,148,400	48,400	1,100,000
	(納 入 者 数)	(306 人)	(319 人)	(13 人)	(306 人)
	受 取 利 息	0	26	26	0
	寄 簿 等 売 上 金	3,000,000	3,171,500	171,500	3,000,000
	名 簿 等 他 収 入	0	0	0	0
	そ の 他 収 入	100,000	40,320	△ 59,680	0
支 出 (ロ)	特 別 会 計 受 入 金	0	0	0	0
	収 入 合 計 (C)	21,599,476	20,838,722	△ 760,754	22,487,111
	同 窓 会 報 発 行 費	4,200,000	3,860,659	△ 339,341	4,200,000
	(発 行 通 数)	(14,500 通)	(14,365 通)	(△ 135 通)	(14,500 通)
	ニ ュ ー ス レ タ ー 発 行 費	1,800,000	1,859,241	59,241	1,900,000
	(発 行 通 数)	(14,500 通)	(14,126 通)	(△ 374 通)	(14,500 通)
	校 内 活 動 助 成 費	1,350,000	1,680,000	330,000	1,350,000
	卒 業 記 念 品	550,000	500,000	△ 50,000	550,000
	総 会 旅 費 補 助	150,000	127,920	△ 22,080	0
	総 会 補 填	300,000	157,011	△ 142,989	100,000
	(出 席 者 数)	(150 人)	(129 人)	(△ 21 人)	-
	P 同 懇 補 填	200,000	132,646	△ 67,354	200,000
	(出 席 者 数)	(130 人)	(142 人)	(12 人)	(130 人)
	支 部 総 会 等 旅 費	600,000	483,690	△ 116,310	300,000
	支 部 総 会 等 祝 儀	350,000	316,000	△ 34,000	150,000
	会 議 費	300,000	197,368	△ 102,632	200,000
	慶 弔 費	200,000	95,822	△ 104,178	200,000
	人 件 費	900,000	737,746	△ 162,254	900,000
	事 務 消 耗 品 費	120,000	30,304	△ 89,696	120,000
	切 手 葉 書 送 料	200,000	60,838	△ 139,162	200,000
	電 話 料	180,000	168,922	△ 11,078	180,000
	振 込 手 数 料	400,000	581,881	181,881	600,000
	設 備 費	250,000	432,264	182,264	250,000
	雑 費	60,000	53,316	△ 6,684	60,000
	同窓会活性化対策費	650,000	475,983	△ 174,017	650,000
	特 別 会 計 繰 入	0	0	0	0
	予 備 費	8,839,476	0	△ 8,839,476	10,377,111
	支 出 合 計 (D)	21,599,476	11,951,611	△ 9,647,865	22,487,111
繰 越 金	(C) - (D)	0	8,887,111	8,887,111	0
残 高 (2020.3.31)	現 金 (事 務 局)		12,507		
	現 金 (事 務 所)		116,699		
	現 金 (会 計)		105,370		
	普 通 預 金 (七 十 七)		1,605,651		
	郵 便 振 込 (泉 南 中 山)		5,305,906		
	郵 便 振 込 (宮 町)		1,740,978		
	未 払 金		0		
	差 引 合 計		8,887,111		

特別会計 2019年度収支決算報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	実 績 額 (B)
収 入	前 年 度 繰 越 金	8,839,989
	預 金 利 息	77
	収 入 合 計 (E)	8,840,066
支 出	旗 製 作 費	106,602
	旗 送 料	0
	振 込 手 数 料	1,630
	支 出 合 計 (F)	108,232
次年度繰越金	(E) - (F)	8,731,834
預金等残高 (2020.3.31)	普 通 預 金 (七 十 七 銀 行)	8,731,834
	差 引 合 計	8,731,834

会費納入について

会費納入のお願い

昨年度の会費納入額は約八五八万円と目標額九五〇万円に届かなかったものの、会員の皆様のご協力をもちまして前年度の実績八五〇万円を若干上回る結果となりました。しかし、会費納入者数は依然低迷しており、寄付に依拠する状況に変わりありません。会費納入者数の増加は依然として重要課題となっております。

同窓会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、今年度も同窓会報・北陵ニュースレターの発行、同窓会総会・PTA同窓会合同新年懇親会の開催、全国各支部との交流、北陵祭でのブースの開設、ホームページの充実などに取り組み同窓会の一層の活性化を図ります。また、入学祝い品・卒業記念品の贈呈、大運動会開催やクラブ活動に対する助成を行い、在校生が母校に誇りを持ち、文武一道を目指すことを支援します。こうした活動の原資となるのが、皆様から納入いただいている同窓会費です。理事会としては、

今後も引き続き同窓会の活性化に取り込む所存ですので、多くの皆様に会費を納めていただくようお願い致します。身近の会員相互にお声がけをいただき、会費納入促進にご協力をお願い致します。※会費納入を重複した方は寄付として扱わせていただきます。

【寄付のお願い】

理事会としましては、同窓会の財政状況に関連し謹んで以下のお願いをさせていただきます。

平成 25 年度をピークに近年中の会費納入額は低迷しており、同窓会活性化と母校支援の積極的な取り組みがいずれ制約される可能性があります。つきましては、皆様に本活動の継続をご理解いただき、年会費とあわせまして寄付のご協力を賜りたく存じます。

皆様のご協力を謹んでお願い申し上げます。

【納入方法】

会報に同封した払込取扱票をお使いください。また下記の銀行口座にお振込みいただいても結構です。その際は振込手数料を差し引いていただき、振込人名義に数字の 1 又は 2 から始まる 7 ケタの会員番号 + お名前をご記入いただきますようお願い致します。

【振込先】

◇七十七銀行 芭蕉の辻支店 普通口座
口座番号 0097845
宮城県仙台第二高等学校 同窓会
会長 大井 龍司

各理事会務分担

部 門 及 び 会 務 内 容	担 当 理 事
会 長	大井 龍司 (高 10 回)
副 会 長 (会計統括)	山田 信一 (高 17 回)
副 会 長 (広報・活性化統括及び会報担当)	阿部 孝一 (高 26 回)
副 会 長 (総務及び北陵祭統括)	谷口 秀樹 (高 27 回)
理 事 (同窓生データベース及び活性化担当)	鈴木 誠一 (高 22 回)
理 事 (同窓生データベース統括)	山口 信也 (高 23 回)
理 事 (活性化担当・同窓会旗統括)	宮内 昭穂 (高 25 回)
理 事 (総務担当)	加藤 幹夫 (高 26 回)
理 事 (会報担当)	千田 耕一 (高 23 回) 新任
理 事 (総務担当)	渡邊 博之 (高 31 回)
理 事 (会報担当)	菊地 徹 (高 35 回)
理 事 (会報統括及び活性化担当)	遠藤 康浩 (高 41 回)
理 事 (会報及び広報担当)	大張 慎悟 (高 48 回)
会計理事 (出納及び決算担当)	菅谷 俊貴 (高 54 回)
会計監事	安藤 裕 (高 18 回)
会計監事	内藤 喜仁 (高 44 回) 新任
事務局長	鈴木 利明 (高 31 回)
事 務 局	佐々木恵理

2019年度 同窓会費納入状況

回期	口数	入金額(円)	会報 発送数	会費 納入率
中 39	1	3,000	1	100.0%
中 40	1	3,000	5	20.0%
中 41	4	12,000	14	28.6%
中 42	4	12,000	16	25.0%
中 43	5	15,000	17	29.4%
中 44	9	27,000	26	34.6%
中 45	5	15,000	31	16.1%
中 46	9	27,000	40	22.5%
中 47	12	36,000	36	33.3%
高 1	10	30,000	53	18.9%
高 2	26	78,000	79	32.9%
高 3	47	141,000	104	45.2%
高 4	52	156,000	126	41.3%
高 5	45	134,000	119	37.8%
高 6	55	165,000	138	39.9%
高 7	47	141,000	117	40.2%
高 8	51	153,000	156	32.7%
高 9	55	165,000	171	32.2%
高 10	76	228,000	187	40.6%
高 11	81	243,000	189	42.9%
高 12	68	204,000	204	33.3%
高 13	54	162,000	194	27.8%
高 14	82	246,000	201	40.8%
高 15	78	234,000	190	41.1%
高 16	73	219,000	211	34.6%
高 17	67	201,000	206	32.5%
高 18	100	300,000	224	44.6%
高 19	70	210,000	176	39.8%
高 20	56	168,000	178	31.5%
高 21	85	255,000	227	37.4%
高 22	98	294,000	257	38.1%
高 23	66	198,000	189	34.9%
高 24	58	174,000	177	32.8%
高 25	77	231,000	202	38.1%
高 26	58	174,000	218	26.6%
高 27	46	138,000	205	22.4%
高 28	59	177,000	196	30.1%
高 29	31	93,000	168	18.5%
高 30	44	132,000	186	23.7%
高 31	37	111,000	169	21.9%
高 32	37	111,000	182	20.3%

回期	口数	入金額(円)	会報 発送数	会費 納入率
高 33	43	129,000	189	22.8%
高 34	31	93,000	176	17.6%
高 35	39	117,000	189	20.6%
高 36	36	108,000	177	20.3%
高 37	33	99,000	182	18.1%
高 38	28	84,000	172	16.3%
高 39	29	87,000	180	16.1%
高 40	30	90,000	212	14.2%
高 41	23	69,000	213	10.8%
高 42	17	51,000	198	8.6%
高 43	17	51,000	175	9.7%
高 44	20	60,000	171	11.7%
高 45	14	42,000	202	6.9%
高 46	28	84,000	198	14.1%
高 47	24	72,000	203	11.8%
高 48	14	42,000	200	7.0%
高 49	17	51,000	199	8.5%
高 50	11	33,000	176	6.3%
高 51	13	39,000	179	7.3%
高 52	13	39,000	172	7.6%
高 53	11	33,000	183	6.0%
高 54	15	45,000	202	7.4%
高 55	14	42,000	182	7.7%
高 56	8	24,000	193	4.1%
高 57	12	36,000	203	5.9%
高 58	17	51,000	199	8.5%
高 59	15	45,000	205	7.3%
高 60	18	54,000	214	8.4%
高 61	13	39,000	215	6.0%
高 62	13	39,000	212	6.1%
高 63	19	57,000	229	8.3%
高 64	14	42,000	236	5.9%
高 65	25	75,000	279	9.0%
高 66	29	87,000	257	11.3%
高 67	25	75,000	270	9.3%
高 68	49	147,000	291	16.8%
高 69	31	93,000	282	11.0%
高 70	53	159,000	280	18.9%
高 71	59	177,000	302	19.5%
不明	1	3,000		
合計	2,860	8,579,000		



令和元年度

第72回卒業式

令和元年度 同窓会入会式(中止)

二〇二〇年二月二十八日(金)に予定されていた同窓会入会式は、新型コロナウイルス感染拡大への対応として中止しました。理事会としては、卒業生の体調管理を最優先させ、やむなく上記の措置を執った次第です。

なお、例年同会で行っている諸事項(卒業記念品・同窓会同期旗の贈呈、評議員・常任委員の委嘱など)、各種資料の配布(同窓会活動の概要、支部・OB会連絡先、同窓会員DB取扱規約など)等は、事務局長の取り計らいで例年通り行うことができました。

令和二年三月一日(日)午前十時から仙台二高講堂において、令和を迎え最初となる卒業式が挙行され、高72回三一六名が母校を巣立ちました。

新型コロナウイルスの蔓延が危惧される中、二学年生徒や吹奏楽部など在校生の同席をなくし、また来賓や保護者に対しても手洗い、うがい、マスク着用など万全の予防措置を勧めたうえで予定通り実施されました。国家・校歌の斉唱においても録音音声が行われるだけでした。

式辞(牛来教頭代読)では入学式や修業式など、仙台二高での学生生活の節目節目に送った言葉を振り返り、また大井同窓会長の祝辞では、いまや天災、人災さらには未知の病原体などにより大変な危機に瀕している地球を救う人材になってほしいこと、また同窓会入会式が中止されたことで伝えることができなかった卒業後には母校を支援する立場になること、同窓会活動に積極的に参加することなどが述べられました。



牛来教頭

数々、二学年次での先輩として求められる責任感、三学年次になって初めて経験した硬式野球定期戦での勝利の雰囲気など、多くの思い出とともに三年間を振り返り、教職員や保護者さらには同窓会の支援への感謝が述べられました。

例年行われる式終了後の応援団長による performance もなく、今回は比較的静かな卒業式でした。

最後に、合唱部によるCDでの校歌演奏があり、式を閉じました。

同窓会事務局 鈴木 利明

令和二年度

入学式

今回の入学式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でその実施も危ぶまれたところでしたが、最終的には新入生のみ出席で、教室における放送とICT用プロジェクターを利用した実施とな

りました。よって、ご来賓や保護者の方々には出席をご遠慮いただくという異例の形になりました。

例年より一足早く咲き誇った満開の桜のもと、登校した新入生たちは、それぞれ緊張した面持ちで各教室に入りました。牛来教頭の開式の辞により式が始まり、CDによる国歌演奏、各担任によるク

ラスごとの呼名の後、新校長、後藤順一先生より入学許可が与えられました。続いて、後藤校長の式辞があり、希望を抱いて入学した新入生への歓迎と激励のお話をいただきました。次の新入生代表生徒による宣誓では、二高生としての誓いが力強い言葉で述べられました。

続く大井同窓会長による祝辞(牛来教頭による代読)では、歓迎の言葉と同窓会の紹介、そして二高はいかなる学校であるのか、更にはこの地球が多種多様な災厄に襲われている中で、将来是非とも危機に瀕したこの地球を救うリーダーになってもらいたいとの強いメッセージが送られました。

在籍生徒数 2020年 4 月 1 日 現在
普通科 1 学年 8 クラス(定員320名)

	男子	女子	計
1 学年	184	137	321
2 学年	185	131	316
3 学年	184	134	318
計	553	402	955

定期戦

恒例の硬式野球・軟式野球・三部（柔道・バレー・バスケット）仙台二高・一高定期戦が、新型コロナウイルスの影響で、五月の開催が中止となった。長い歴史の中では中断した時期もあったが、戦後一九四六年に再開されて以降、毎年開催されてきた定期戦、歴史は我が国が古い「杜の都の早慶戦」とも呼ばれ、五月の仙台の風物詩でもあった定期戦。東京オリンピックも延期となったことを考えると仕方ないとも思えるのだが…。

できれば延期して開催する意向とのことなので、新型コロナウィルスの感染が終息したら、すぐに行われることを期待したい。

担当 千田耕一記

定期戦祝勝会

令和二年度の対一高野球定期戦は無期限延期となりましたため、延期となっております。開催時期は未定です。

硬式野球定期戦は、
毎年五月の第二土曜日に
開催されます。

令和元年度二高・一高同窓会

ゴルフ対抗戦

今年で第八回になる二高・一高同窓会ゴルフ対抗戦でしたが、ご多聞に漏れずコロナウイルス感染の拡大による影響でやむなく中止となりました。現役諸君の定期戦も無期延期となり、大変に残念なことと思います。

この大会は会員相互の親睦を計り引いては、同窓会活動の活性化をはかる趣旨で毎年開催しています。現在二高の五勝二敗と大きく勝ち越していますが、この勢いを続け現役諸君にエールを贈りたいと思います。今年は中止となりましたが、来年は情熱あふれる同窓会会員の多数のご参加をいたいて、一高を圧倒したいと思っています。

在学中はお互い無関係であった人達が、卒業後に先輩・後輩と仲睦まじい関係を築いています。また、後輩たちに元気をまくる同窓会活動の活性化の一翼を担っています。是非、多数の同窓会会員の参加をお待ちしております。

山口 信也（高23回）

同窓生からの寄贈本の紹介

●『耀映 すきとおった風のなかで…』

●『日本古典籍書誌学辞典』

●『書誌学序説 岩波全書』

●『漢籍版本入門』

●『本ができるまで 岩波ジュニア新書』

●『宮城県図書館和古書目録』

●『青柳・今泉・大槻・養賢堂文庫和漢書目録』

●『花野抄』第17集

●『科学技術の内と外』

●『市民が作る塩竈歴史案内第五集 塩竈石の物語』

原田 エミ様

（原田伸正（高5回）奥様）

萱場 健之様（高10回）

萱場 健之様（高10回）

萱場 健之様（高10回）

萱場 健之様（高10回）

萱場 健之様（高10回）

萱場 健之様（高10回）

加藤 邪吞様（文彬）（高11回）

新妻 弘明様（高18回）

三浦 一泰様（高21回）

当宮城県の野球史に残る応援戦、吾が二高の活躍史が
美談として新聞紙上に紹介されました。

〈投稿〉
田中 宏（高4回）

みやぎ野球史再発掘

伊藤正浩



選手たちを後押しする応援は、高校野球の魅力の一つといえよう。2015年夏の甲子園決勝戦、球場一丸となった「仙台育英コー」は、記憶に新しい。1956年夏の甲子園大会に東北代表で出場した仙台二高は、応援団の風雨をものもしない気迫が、名門校を打ち破る原動力となったと言われている。8月14日の2回戦、慶応（神奈川）との対戦、先制されて追いついた後、二高は押し気味ながらも、決め手に欠いた。3-3で迎えた六回裏、二高が一死満塁のチャンスでスクイズ失敗で潰したところで、雷雨のために試合が中断。選手、観客や慶応応援団が屋根の下で雨宿りをする中、二高応援団だけは「いまこそ」と奮い立った。予算不足で仙台から駆けつけた応援団は約10人。友情応援の滝川（兵庫）のブラスパードと合わせても、わずか30人ほどだった。滝川は二高（当時は仙台二中）が25年、初めて甲子園に出場した際に選手だった早坂明夫氏が、野球部長を務める縁だ。人数は少なくても、選手たちの氣勢を雨に流すわけにはいかない。1時間余にわたって旗を振り、歌い、

応援団 気迫の「雨か嵐か」

た六回裏、二高が一死満塁のチャンスでスクイズ失敗で潰したところで、雷雨のために試合が中断。選手、観客や慶応応援団が屋根の下で雨宿りをする中、二高応援団だけは「いまこそ」と奮い立った。予算不足で仙台から駆けつけた応援団は約10人。友情応援の滝川（兵庫）のブラスパードと合わせても、わずか30人ほどだった。滝川は二高（当時は仙台二中）が25年、初めて甲子園に出場した際に選手だった早坂明夫氏が、野球部長を務める縁だ。人数は少なくても、選手たちの氣勢を雨に流すわけにはいかない。1時間余にわたって旗を振り、歌い、

叙勲受章者

瑞寶双光章	馬淵 俊浩殿（高5回）
瑞宝双光章	今井 克彦殿（高9回）
旭日中授章	鹿野 哲義殿（高20回）

過去 3 年間の大学入試合格状況

				() 内は現役内数					
年度別		R2年 3 月	31年 3 月	30年 3 月	年度別		R2年 3 月	31年 3 月	30年 3 月
大学		合格者数	合格者数	合格者数	大学		合格者数	合格者数	合格者数
国 立 大 学		238 (141)	236 (135)	250 (138)	公 立 大 学	国際教養大	1 (1)	1 (1)	
公 立 大 学		24 (16)	21 (10)	22 (10)		会 津 大	1 (1)		
私 立 大 学		436 (139)	427 (124)	469 (149)		福島県医科大	4 (2)	9 (3)	4 (2)
大学校・専修・その他の学校		9 (6)	4 (1)	10 (9)		高崎経済大	2 (2)	2	2 (1)
総 計		707 (302)	688 (270)	751 (306)		埼玉県立大	1 (1)		
東 北 大	旭川医大	1				公 東京都市立大	2 (2)	3 (2)	2 (1)
	北海道大	10 (7)	6 (4)	12 (5)		横浜市立大		1 (1)	1
	弘 前 大	6 (4)	2 (1)	4 (2)		新潟県立大	1 (1)		
	岩 手 大	4 (3)	6 (5)	9 (4)		都留文科大		1 (1)	1 (1)
	大 医 学	文	7 (7)	8 (6)		4 (1)	大 長 野 大	2 (1)	
		法	10 (6)	7 (5)	11 (8)	静岡県立大	1 (1)		1
		経済	7 (6)	7 (6)	11 (7)	名古屋市立大		1	1
		教育	2 (2)	1	3 (1)	京都府立大		1 (1)	
		理	6 (4)	9 (5)	10 (5)	大阪市立大	1 (1)		
		工	27 (19)	28 (22)	29 (19)	大阪府立大	1 (1)		1
歯 医 保		12 (8)	17 (9)	12 (6)	山口東京理科大			1	
歯 保		10 (5)	8 (4)	5 (4)	公立大学合計	24 (16)	21 (10)	22 (10)	
歯 薬	5 (1)	5 (1)	2	国公立大学合計	262 (157)	257 (145)	272 (148)		
歯 農	2 (1)	1	6 (4)	私 立 大 学	北海道科学大		2		
農	8 (5)	7 (4)	11 (7)		酪農学園大		3	1	
東北大小計	96 (64)	98 (62)	104 (62)		千歳科学技大			1	
宮城教育大	9 (8)	9 (4)	9 (7)		岩手医科大	5	10 (3)	8 (1)	
秋 田 大	4	8 (6)	5 (1)		尚絨学院大			3 (1)	
山 形 大	26 (9)	31 (22)	24 (13)		仙台白百合女子大		1 (1)		
福 島 大		1			東北学院大	24 (7)	21 (9)	13 (6)	
茨 城 大	4 (2)	1	1 (1)		東北工業大	1 (1)	1	1	
筑 波 大	2 (1)	2 (1)	2 (1)		東北福祉大	6 (4)		1 (1)	
宇 都 宮 大		1 (1)	2 (2)		東北医科薬科大	37 (11)	37 (12)	29 (10)	
国 立 大 学	群 馬 大	1 (1)	1		宮城学院女子大	1 (1)		2 (2)	
	埼 玉 大	4 (1)	2	6 (3)	東北芸術工科大	2 (2)		1 (1)	
	千 葉 大	7 (3)	4	3 (2)	奥 羽 大	2			
	東京海洋大		1	2	国際医療福祉大	1	3 (1)	1 (1)	
	電気通信大		4	3 (1)	自治医科大	2	4 (1)	1 (1)	
	東 京 大	文Ⅰ		1		獨協医科大	5	3	
		文Ⅱ	1 (1)	3 (1)	2 (1)	埼 玉 医 大	1		1
		文Ⅲ	3 (3)	7 (5)	4 (1)	城 西 大		1	
		理Ⅰ	5 (2)	4 (2)	6 (4)	日 本 工 大	1		
		理Ⅱ	3 (1)	2 (1)	6 (3)	文 教 大			5 (5)
理Ⅲ					私 神田外語大			1 (1)	
東京大小計	12 (7)	17 (9)	18 (9)	私 立 大 学	千 葉 工 大	2	1	4 (1)	
東京医歯大	2 (2)	1			千 葉 商 大	1			
東京外語大	4 (3)	1			青山学院大	8 (3)	7 (5)	10 (7)	
東京学芸大	1 (1)	1 (1)			大妻女子大		1		
東京工業大	2 (1)	5 (2)	4 (3)		学 習 院 大	1			
東京農工大	3 (1)	3 (1)	1		学習院女子大			1	
一 橋 大	7 (5)	3 (3)	9 (5)		北 里 大	1 (1)	3 (1)	7 (1)	
横浜国立大	3 (1)	4 (1)	5 (1)		共立女子大	2			
新 潟 大	9 (5)	9 (3)	2 (1)		杏 林 大	1			
富 山 大	1 (1)		1		慶應義塾大	11 (7)	26 (12)	23 (10)	
公 立 大 学	金 沢 大			1 (1)	工 学 院 大	10 (2)	2	6	
	山 梨 大	1			國 學 院 大	1	1 (1)		
	信 州 大		1	1	国際基督教大	1		1	
	静 岡 大	2 (1)		1 (1)	駒 澤 大	4 (1)	7 (2)	3 (1)	
	愛知教育大			1	実践女子大		1		
	名 古 屋 大	2 (2)	1	1 (1)	芝 浦 工 大	20 (2)	39 (5)	17 (2)	
	滋 賀 医 大	1			順 天 堂 大	1	3 (1)	2	
	京 都 大	7 (5)	10 (8)	10 (7)	上 智 大	3 (1)	1		
	大 阪 大	6 (2)	2 (1)	5 (3)	昭 和 大		3 (1)	1	
	神 戸 大			2 (1)	昭和女子大	2 (1)	1 (1)		
九 州 大	1		2 (1)	成 蹊 大	4 (3)	3	4 (2)		
大 分 大		1		成 城 大			2 (1)		
国立大学合計	238 (137)	236 (135)	250 (138)	聖路加国際大		2			
公立大学	青森公立大	1			専 修 大	1	3	1	
	岩手県立大	1			多 摩 大	1			
	宮 城 大	5 (2)	2 (1)	7 (5)	玉 川 大	1		1 (1)	

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
陸 上 競 技 部	男子400mH第4位 梶谷侑太郎 女子1600mR第4位（前川 金森 高橋の 但木） 男子走高跳第4位 堀越鉄平 女子三段跳第4位 中嶋美咲 以上東北大会進出 男子走高跳第5位 陳立明 女子100mH第5位 高橋のの花 女子7種競技第5位 東條有李 女子5000m競歩第8位 塚本美陽 第24回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 (2019/9/27～9/29) 男子5000m競歩第2位 虎岩悠太 全国高校駅伝競走大会宮城県予選会（2019/10/20） 男子13位 女子20位	硬 式 野 球 部	第13回春季中部地区予選（2019/4/13～5/5） 本戦1回戦 仙台二 5－11 東北 敗者復活戦1回戦 仙台二 2－4 聖和学園 第101回全国高等学校野球選手権宮城大会（2019/7/13～7/28） 2回戦 仙台二 8－1 登米（7回C） 3回戦 仙台二 3－6 仙台 第13回秋季中部地区予選（2019/8/16～9/7） 本戦1回戦 仙台二 6－8 聖和学園 敗者復活戦1回戦 仙台二 7－14 東北生活文化大（7回C）
ハ ン ド ボ ー ル 部	平成31年度 宮城県春季ハンドボール選手権大会【高校の部】 (2019/4/18～2019/4/20) 1回戦 仙台二 34（18－0，16－6）6 名取北 2回戦 仙台二 33（19－8，14－9）17 仙台 3回戦 仙台二 20（9－15，11，17）32 聖和学園 第68回（令和元年度）宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技（2019/6/1～6/3） 2回戦 20（10－8，10－10）18 県工業 3回戦 28（12－18，16－21）39 仙台三 令和元年度 第55回仙台市民総合体育大会ハンドボール競技 (2019/8/8～8/10) 予選リーグ 仙台二 11－11 東北 仙台二 24－10 県工業 予選リーグ敗退 令和元年度 宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会 第43回 全国高等学校選抜大会宮城県第1次予選（2019/11/1～11/3） 1回戦 仙台二 35（17－5，18－11）16 塩釜 2回戦 仙台二 24（14－5，10－6）11 名取北 3回戦 仙台二 10（4－11，6－11）22 聖和学園	軟 式 野 球 部	第13回春季東北地区高等学校軟式野球大会宮城県大会 第67回 宮城県高等学校軟式野球春季大会 兼 第67回宮城県高等学校 総合体育大会軟式野球競技（2019/5/30～6/4） 1回戦仙台二 6－4 仙台青陵 2回戦仙台二 2－1 仙台育英 準決勝仙台二 6－1 仙台一高 決勝仙台二 3－2 仙台商業 28年ぶりの優勝 第13回春季東北地区高等学校軟式野球大会 (2019/6/15～6/19) 2回戦仙台二 1－7 八戸工業 第64回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会 (2019/7/6～7/10) 2回戦仙台二 2－7 東北学院 第31回秋季東北地区高等学校軟式野球宮城県大会 第59回宮 城県高等学校軟式野球秋季大会（2019/10/3～10/10） 1回戦仙台二 3－2 泉 2回戦仙台二 0－10 東北学院（7回コールド） 令和元年度仙台一高・仙台二高 軟式野球定期戦 (2019/5/25) 仙台二 0－2 仙台一
	2019年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 仙塩地区予選会（2019/5/4～5/7） 男子 仙台二 104-48 泉 仙台二 103-39 塩釜（県大会出場決定） 女子 仙台二 46-94 仙台城南 仙台二 62-68 多賀城（予選敗退） 第68回宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 (2019/6/1～6/3) 男子 1回戦 仙台二 101-53 柴田 2回戦 仙台二 83-58 仙台南 3回戦 仙台二 65-91 東北（県ベスト16） 第41回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次大会 (2019/8/27～8/30) 男子 1回戦 仙台二 95－46 大崎中央 2回戦 仙台二 99－77 名取 3回戦 仙台二 111－39 石巻商業 (Hブロック優勝：本大会出場) 女子 1回戦 仙台二 56－86 石巻好文館（予選敗退） 第41回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会 (2019/10/19～10/20) 男子 1回戦 仙台二 52－76 東北生活文化大高（県ベスト16） 令和元年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会瀬年地 区予選会（2019/10/26～11/6） 男子 予選リーグ 仙台二 100－31 仙台青陵 仙台二 96－58 仙台（県大会出場決定） 順位決定トーナメント 仙台二 61－65 仙台一 女子 予選リーグ 仙台二 52－98 東北 仙台二 99－38 学院榴ヶ岡 代表決定トーナメント 1回戦 仙台二 109－39 松島 2回戦 仙台二 61－45 仙台城南（県大会初出場決定） 令和元年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 (2020/1/18～1/20) 男子	サ ッ カ ー 部	宮城県高等学校総合体育大会サッカー競技仙塩地区予選 (2019/4/27～5/7) 予選リーグ 仙台二 1－1 仙台市工業 仙台二 0－1 仙台城南 予選突破 宮城県高等学校総合体育大会サッカー競技 (2019/5/25～6/3) 1回戦 仙台二 1－1 迫桜（PK 3－2） 2回戦 仙台二 1－0 仙台南 準々決勝 仙台二 0－8 仙台三 ベスト 8 進出 令和元年度宮城県高校サッカー新人大会仙塩地区予選 (2019/9/29～10/8) 予選リーグ 仙台二 0－1 東北学院榴ヶ岡 仙台二 2－3 仙台 仙台二 0－2 仙台城南 予選敗退
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部		ラ グ ビ ー 部	第6回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会宮城県 予選大会（2019/4/20～4/21） 予選トーナメント 仙台二・仙台南・石巻・宮水合同 5－65 仙台育英 仙台二・仙台南・石巻・宮水合同 12－34 古川工業 ※予選敗退 第68回宮城県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技 (2019/5/25～6/3) 1回戦 仙台二・仙台南・仙台東・高専広瀬合同 19－31 高専名取 第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会宮城県予選大会 (2019/9/1～10/20) 2回戦 仙台二・仙台東・仙台南合同 0－72 気仙沼向洋・古川工業合同 第71回宮城県高等学校ラグビーフットボール新人大会予選 トーナメント（2019/11/3～11/9） 仙台二・仙台東・仙台南合同 5－60 白石工業 仙台二・仙台東・仙台南合同 19－19 仙台工業・高専広瀬合同 ※抽選により決勝トーナメント進出 第71回宮城県高等学校ラグビーフットボール新人大会決勝 トーナメント（2020/1/11～1/18） 仙台二・仙台東・仙台南合同 0－118 仙台育英 ※ベスト 8
		陸 上 競 技 部	宮城県高等学校総合体育大会陸上競技（2019/5/24～5/27） 男子5000m競歩第3位 虎岩悠太 男子やり投第3位 伊東竜星 男子走高跳第4位 香川寛彦 男子三段跳第4位 藤田想 男子円盤投第5位 三浦凌 男子走高跳第6位 陳立明 以上6名東北大会進出 宮城県高等学校新人陸上競技大会（2019/9/6～9/11） 男子5000m競歩第3位 虎岩悠太 女子400mH第3位 高橋のの花

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
バドミントン部	男子 仙台二 0－3 築館 女子 仙台二 3－0 気仙沼向洋 仙台二 0－3 仙台三	バスケットボール部	1 回戦 仙台二 69－47 古川工業 2 回戦 仙台二 76－63 仙台三 3 回戦 仙台二 53－79 聖和学園（県ベスト16） 女子 1 回戦 仙台二 79－45 古川黎明 2 回戦 仙台二 47－68 仙台一
テニス部	令和元年度 宮城県高等学校新人大会テニス競技（個人の部） （2019/9/6～9/8） 男子ダブルス 渡邊尚之・神田隆介 3 回戦 女子シングルス 山下美侑 ベスト16 女子ダブルス 山下美侑・伊東怜菜 ベスト8 令和元年度 宮城県高等学校新人大会テニス競技（団体の部） （2019/10/4～10/6） 団体男子 1 回戦 5－0 富谷 2 回戦 2－3 学院榴ヶ岡 団体女子 2 回戦 4－1 気仙沼向洋 3 回戦 0－5 仙台育英 ベスト8 第68回 宮城県高等学校総合体育大会テニス競技（個人の部） （2019/5/24～6/3） 男子シングルス 瀬川京平 3 回戦 佐藤豪 3 回戦 大村晃也 3 回戦 畠山拓人 3 回戦 男子ダブルス 大久祥多郎・石塚健彰 4 回戦 佐藤豪・瀬川京平 4 回戦 大村晃也・福村健斗 4 回戦 女子シングルス 岩月遥 7 位 川合悠乃 ベスト32 女子ダブルス 青木七穂・村上万鈴 ベスト16 岩月遥・川合悠乃 ベスト16 第68回 宮城県高等学校総合体育大会テニス競技（団体の部） （2019/6/2～6/3） 団体男子 1 回戦 1－2 石巻 団体女子 1 回戦 2－0 仙台南 2 回戦 2－0 常盤木学園 3 回戦 1－2 仙台第三 ベスト8 2019年度宮城県春季ジュニアテニス選手権大会 兼 東北選抜ジュニア大会県選考会 兼 全日本ジュニア県選考会 （2019/4/27～5/6） 女子シングルス 岩月 遥 準決勝 4 位 U-18 川合悠乃 4 回戦 山下美侑 3 回戦 青木七穂 3 回戦 大江花奈 3 回戦 女子ダブルス 岩月遥・川合悠乃 4 回戦（ベスト16） U-18 村上万鈴・青木七穂 4 回戦（ベスト16） 和田歩・大江花奈 3 回戦 第74 回国体テニス競技宮城県選手選考会 少年男女の部 （2019/7/1～7/4） 男子シングルス 井島寛基 4 回戦 渡邊尚之 3 回戦 千葉夏輝 3 回戦 本田優二郎 3 回戦 川田歩輝 3 回戦 佐々木優 3 回戦 神田隆介 3 回戦 井上竜之介 3 回戦 女子シングルス 山下美侑 3 回戦 茂野瑠夏 3 回戦 第41回東北ジュニアテニス選手権大会・全日本ジュニア予選会 （2019/7/12～7/16） 女子シングルス U-18 岩月遥 2 回戦 8－9（5） 高橋（秋田・聖霊） 2019年度 宮城県冬季ジュニアテニス大会（U-18・16・14・12）兼 第27回東北春季ジュニアテニス大会宮城県選考会（U-18・16）兼 全国選抜ジュニアテニス選手権大会東北予選宮城県選考会（14・12）兼 第35回東北インドアテニス選手権大会宮城県選考会（2019/12/14～12/23） 女子シングルス 山下美侑 5 回戦（ベスト16） U-18 伊東怜菜 3 回戦 茂野瑠夏 3 回戦 女子ダブルス 伊東怜菜・山下美侑 4 回戦（ベスト16） U-18 郡山七奈・齋藤若菜 3 回戦 2019年度 宮城県夏季ジュニアテニス選手権大会（U-18） （2019/8/16～8/19） 女子シングルス U-18 山下美侑 4 回戦（ベスト32）	第68回宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技 （2019/6/1～6/2） 女子 1 回戦 仙台二 0－2 古川 第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会県一次予選 （2019/9/8～9/9） 女子 1 回戦 仙台二 0－2 岩出山 第40回仙台市民総体バレーボール競技（高等学校の部） （2019/11/2～11/3） 女子 予選グループ 仙台二 0－2 東北生文大 仙台二 0－2 仙台西 令和元年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会仙塩地区大会（2019/12/21～12/22） 女子 1 次リーグ 仙台二 2－0 松島 仙台二 0－2 尚綱 仙台二 0－2 仙台南 令和元年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 （2020/1/18～1/19） 女子 1 回戦 仙台二 0－2 桜坂 第68回 宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技（男子） （2019/6/1～6/3） ◎1 回戦 仙台二 0－2 柴田 第72回 全日本バレーボール高等学校選手権大会 宮城県代表決定戦 兼 第42回仙台放送杯争奪宮城県大会 1 次予選 （2019/9/7） ◎1 回戦 仙台二 0－2 築館 令和元年度（第40回）仙台市民総合体育大会バレーボール競技（高等学校の部）【男子】（2019/11/2～11/3） ◎予選ブロックリーグ戦 仙台二 0－2 明成、仙台二 2－0 泉 ◎決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 0－2 東北学院 令和元年度 宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 仙塩地区大会（2019/12/21～2019/12/22） ◎1 次リーグ 仙台二 2－1 東北生文大高 仙台二 2－0 仙台三 仙台二 2－0 仙台西 ◎2 次リーグ 仙台二 0－2 宮城工 仙台二 0－2 仙台商 令和元年度 宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 （2020/1/18～1/20） ◎1 回戦 仙台二 2－1 仙台南 ◎2 回戦 仙台二 2－1 仙台商 ◎3 回戦 仙台二 0－2 東北	
テニス部	第74 回国体テニス競技宮城県選手選考会 少年男女の部 （2019/7/1～7/4） 男子シングルス 井島寛基 4 回戦 渡邊尚之 3 回戦 千葉夏輝 3 回戦 本田優二郎 3 回戦 川田歩輝 3 回戦 佐々木優 3 回戦 神田隆介 3 回戦 井上竜之介 3 回戦 女子シングルス 山下美侑 3 回戦 茂野瑠夏 3 回戦 第41回東北ジュニアテニス選手権大会・全日本ジュニア予選会 （2019/7/12～7/16） 女子シングルス U-18 岩月遥 2 回戦 8－9（5） 高橋（秋田・聖霊） 2019年度 宮城県冬季ジュニアテニス大会（U-18・16・14・12）兼 第27回東北春季ジュニアテニス大会宮城県選考会（U-18・16）兼 全国選抜ジュニアテニス選手権大会東北予選宮城県選考会（14・12）兼 第35回東北インドアテニス選手権大会宮城県選考会（2019/12/14～12/23） 女子シングルス 山下美侑 5 回戦（ベスト16） U-18 伊東怜菜 3 回戦 茂野瑠夏 3 回戦 女子ダブルス 伊東怜菜・山下美侑 4 回戦（ベスト16） U-18 郡山七奈・齋藤若菜 3 回戦 2019年度 宮城県夏季ジュニアテニス選手権大会（U-18） （2019/8/16～8/19） 女子シングルス U-18 山下美侑 4 回戦（ベスト32）	第72回宮城県バドミントン選手権大会（高校総体 1 次予選会）（女子2019/4/26～4/28 男子2019/4/28～4/30） 男子 ダブルス 小島・山下組 4 回戦進出（ベスト64） 女子 シングルス 横山小夏 5 回戦進出（ベスト64） 第68回宮城県高等学校総合体育開会バドミントン競技個人対抗戦（2019/5/24～5/25） 男子 ダブルス 小島・山下組 3 回戦進出（ベスト64） 山中・金子組 2 回戦進出 伊澤・赤垣組、山田・西巻組 初戦敗退 シングルス 山下薫、山中勇騎 3 回戦進出（ベスト64） 小島順 2 回戦進出 金子佑樹 初戦敗退 女子 ダブルス 近江・矢口組 4 回戦進出（ベスト32） 横山・丹畑組 3 回戦進出（ベスト64） 金久保・松成組、菅原・鈴木組 初戦敗退 シングルス 横山小夏 3 回戦進出（ベスト64） 丹畑菜 2 回戦進出 近江綾和、菅原恵菜 初戦敗退 第68回宮城県高等学校総合体育開会バドミントン競技学校対抗戦（2019/6/1～6/3） 男子 仙台二 0－3 聖和学園 女子 仙台二 1－3 多賀城 第38回全日本ジュニアバドミントン選手権大会宮城県予選会（新人大大会 1 次予選会）（2019/8/12～8/14） 女子 シングルス 矢口祐衣 5 回戦進出（ベスト64） 令和元年度宮城県高等学校新人大会バドミントン競技個人対抗戦（2019/10/30～10/31） 男子 ダブルス 木村・滝沢組 初戦敗退 シングルス 木村友祐 初戦敗退 女子 ダブルス 鈴木・矢口組 初戦敗退 シングルス 鈴木陽香 初戦敗退 令和元年度宮城県高等学校新人大会バドミントン競技学校対抗戦（2019/11/11～11/13）	
ソフトテニス部	第65回 宮城県高等学校ソフトテニス春季大会 （2019/4/25～4/27） 男子個人 遠藤・中村ペア 4 回戦敗退 ベスト64 千葉・長南ペア 3 回戦敗退 櫻井・高畑ペア 2 回戦敗退 佐々木・有住ペア 1 回戦敗退 女子個人 高橋・山崎 3 回戦敗退 ベスト64		

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
水 泳 部 （ 競 泳 ）	男子200m背泳ぎ 川口陽大② 男子200m個人メドレー 東遼太郎① 女子800m自由形 村上菜穂③ 女子100m背泳ぎ 川口明紗陽③ 男子4×100フリーリレー 佐藤諒弥② 東凌太郎① 堀敦弥③ 堀野真生③ 男子4×100メドレーリレー 川口陽大② 東凌太郎① 一条悠人② 佐藤諒弥② 男子4×200mフリーリレー 佐藤諒弥② 東凌太郎① 堀敦弥③ 堀野真生③ いずれも予選敗退 男子100m背泳ぎ 川口陽大② 予選8位通過 決勝7位 令和元年度宮城県高等学校新人大会水泳競技大会 (2019/9/20～9/22) 男子200m背泳ぎ 川口陽大② 決勝2位 東北新人大会出場 男子200m個人メドレー 東凌太郎① 決勝8位 男子100m背泳ぎ 川口陽大② 決勝3位 東北新人大会出場 男子4×200mフリーリレー 佐藤諒弥② 東凌太郎① 一条悠人② 川口陽大② 決勝3位 男子4×100mメドレーリレー 川口陽大② 東凌太郎① 一条悠人② 佐藤諒弥② 決勝3位 東北大会出場 男子4×100mフリーリレー 佐藤諒弥② 東凌太郎① 一条悠人② 川口陽大② 決勝6位 学校対抗 男子第6位 第27回東北高等学校新人水泳競技大会 (2019/10/18～10/19) 男子200m背泳ぎ 川口陽大② 決勝第6位 男子100m背泳ぎ 川口陽大② 決勝第4位 男子4×100メドレーリレー 川口陽大② 東凌太郎① 一条悠人② 佐藤諒弥② 予選敗退	ソフトテニス部	杉山・伊東 2回戦敗退 打矢・児玉 1回戦敗退 坪井・柏木 2回戦敗退 第68回 宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (2019/6/1～6/3) 男子団体 2回戦 仙台二 ②－0 白石工業 3回戦 仙台二 0－② 東北生文大 男子個人 千葉・長南ペア 4回戦敗退 前田・伊藤ペア、櫻井・高畑ペア、 遠藤・中村ペア、柴田・赤坂ペア 1回戦敗退 女子団体 2回戦 仙台二 ③－0 岩ヶ崎 3回戦 仙台二 0－② 塩釜 女子個人 高橋・山崎 杉山・伊東 3回戦敗退 ベスト64 海野・三浦 4回戦敗退 ベスト32 第23回 宮城県高等学校ソフトテニス夏季大会 (2019/8/10～8/11) 男子個人戦 柴田・赤坂ペア、官野・伊藤ペア、 那須野・野上ペア、君塚・北見ペア 1回戦敗退 女子個人戦 海野・三浦 5回戦敗退 ベスト16 水間・飯嶋 3回戦敗退 ベスト64 菊地・奥田 斉藤・小原 1回戦敗退 令和元年度 宮城県高等学校ソフトテニス新人大会 (2019/10/31～11/2) 男子団体 1回戦 仙台二 0－② 大河原商業 女子団体 1回戦 仙台二 ②－0 仙台二華 2回戦 仙台二 ②－1 仙台商業 3回戦 仙台二 1－② 小牛田農林 ベスト16 県インドア大会代表決定戦 仙台二 1－② 古川学園 女子個人 海野・三浦 3回戦敗退 ベスト32 県インドア大会代表決定戦 ④－1 角田・松本 (小牛田農) 県インドア大会出場 菊地・奥田 1回戦敗退 令和元年度 宮城県高等学校ソフトテニスインドア大会 (2019/12/23～12/25) 女子個人 海野・三浦 予選リーグ ④－3 常磐木 ④－3 利府 決勝トーナメント進出 決勝トーナメント 0－④ 東北 ベスト8
卓 球 部	宮城県高等学校総合体育大会卓球競技仙塩地区予選会 (2019/5/9～5/11) 男子学校対抗 予選トーナメント 1回戦 仙台二 3－0 富谷 2回戦 仙台二 3－1 仙台 県大会出場決定 決勝トーナメント 2回戦 仙台二 2－3 仙台三 惜敗 女子学校対抗 予選トーナメント 1回戦 仙台二 0－3 仙台三 第1次敗者復活戦 1回戦 仙台二 0－3 泉館山 第2次敗者復活戦 1回戦 仙台二 3－2 聴覚支援 県大会出場決定 男子シングルス 長谷川③早川③武石③渡邊③川村②遠藤②小杉② 県大会出場決定 男子ダブルス 長谷川③・境③、川村②・遠藤② 県大会出場決定 女子シングルス 吉田③ 県大会出場決定 女子ダブルス 県大会出場ならず 宮城県高等学校総合体育大会卓球競技 (2019/6/1～6/3) 男子学校対抗 2回戦 仙台二 3－0 佐沼 3回戦 仙台二 3－0 仙台 4回戦 仙台二 1－3 仙台育英 県ベスト8 女子学校対抗 2回戦 仙台二 2－3 白石 惜敗 男子シングルス 川村② 4回戦敗退 県ベスト16 長谷川③早川③遠藤② 3回戦敗退 武石③ 2回戦敗退 渡邊③小杉② 1回戦敗退 男子ダブルス 長谷川③・境③、川村②・遠藤② 1回戦敗退 女子シングルス 吉田③ 2回戦敗退 全日本卓球選手権大会ジュニアの部仙塩地区予選会 (2019/8/10) 男子シングルス 川村②遠藤②千葉②伊東②小杉②藤倉① 石森① 県大会出場 女子シングルス 岩根②高橋②稲葉① 県大会出場 全日本卓球選手権大会ジュニアの部宮城県予選 (2019/9/8) 男子シングルス 川村② 5回戦敗退 県ベスト16 千葉③遠藤②藤倉① 3回戦敗退 小杉②石森① 2回戦敗退 伊東② 1回戦敗退 女子シングルス 稲葉① 3回戦敗退 岩根② 2回戦敗退 宮城県高等学校新人卓球大会仙塩地区予選会 (2019/10/17～10/19) 男子学校対抗 予選トーナメント 2回戦 仙台二 3－0 仙台工 県大会出場決定	水 泳 部 （ 水 球 ）	高体連水球競技 (2019/6/21) 決勝戦 仙台二 1－20柴田 東北高等学校選手権水球大会 (2019/7/13) 第4位 第68回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技 (2019/6/23) 第2位 第67回東北高等学校選手権水泳（水球）競技大会 (2019/7/13～7/14) 第4位 令和元年度宮城県高等学校新人水泳競技大会（水球競技） (2019/10/20) 第2位 第32回東北選手権水球競技大会 (2019/11/2～11/4) 第5位 第68回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会 (2019/6/21～6/23) 男子200m個人メドレー 東 遼太郎① 決勝7位 東北大会出場 男子200mバタフライ 東 遼太郎① 決勝10位 男子200m背泳ぎ 川口 陽大② 決勝3位 東北大会出場 男子100m背泳ぎ 川口 陽大② 決勝2位 東北大会出場 男子50m自由形 佐藤 諒弥② 決勝10位 女子200m背泳ぎ 川口明紗陽③ 決勝7位 東北大会出場 女子100m背泳ぎ 川口明紗陽③ 決勝7位 東北大会出場 女子400m自由形 村上 菜穂③ 決勝5位 東北大会出場 女子800m自由形 村上 菜穂③ 決勝3位 東北大会出場 男子4×100mフリーリレー 佐藤諒弥② 川口陽大② 堀敦弥③ 堀野真生③ 決勝4位 東北大会出場 男子4×100mメドレーリレー 川口陽大② 東遼太郎① 一条悠人② 佐藤諒弥② 決勝6位 東北大会出場 男子4×200mフリーリレー 佐藤諒弥② 東遼太郎① 堀敦弥③ 堀野真生③ 決勝7位 東北大会出場 学校対抗 男子第6位 女子第8位 第67回東北高等学校選手権水泳競技大会 (2019/7/19～7/21) 女子400m自由形 村上菜穂③ 女子200m背泳ぎ 川口明紗陽③

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
フェンシング部	準々決勝 2－5V 仙台南高 仙台二高 A (小泉 大瀬戸 平) 準々決勝 2－5V 仙台三高B 少年女子シニア 第 5 位 小島 清楓 少年女子団体 仙台二高 B (浅野 寺崎 中塚 大和田 鈴木) 1 回戦 0－5V 仙台三高A 優勝 仙台二高 A (高橋 小島 森本 中村 宮本) 1 回戦 5V－0 仙台南高B 準決勝 5V－0 仙台南高A 決勝 5V－4 仙台三高A 令和元年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (2019/10/24～10/26) 男子フルーレ 第 3 位 小泉 奏太 第 7 位 因幡 涼平 男子学校対抗 第 2 位 (小泉 因幡 大瀬戸 平 八木田) 1 回戦 V5－1 仙台南 準決勝 V5－4 仙台三 決勝 1－V5 仙台南 女子学校対抗 第 3 位 (小島 浅野 寺崎 中村 宮本) 1 回戦 V5－2 仙台 準決勝 1－V5 仙台三 シード決定戦 V5－1 仙台南 第27回 J O C ジュニアオリンピックカップフェンシング大会 宮城県予選会 兼 2020年ジュニア・カデ世界選手権大会最 終選考会宮城県予選会 (2019/11/9～11/10) 全国大会出場権獲得 小泉 奏太 (ジュニア男子エベ 1 位) 森本 香穂 (ジュニア女子エベ 2 位) 大瀬戸 志成 (カデ男子サーブル 2 位) 鈴木 百音 (カデ女子フルーレ 1 位) 大和田 共笑 (カデ女子エベ 2 位) 令和元年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (団体戦) 第44回全国高等学校選抜フェンシング選手権大会宮城県予選会 (2019/12/24～12/25) 男子フルーレ 第 2 位 (小泉 因幡 大瀬戸 小沢 八木田) 1 回戦 V45－38 仙台南 準決勝 V40－33 仙台 決勝 29－V45 仙台南 補欠代表決定戦 41－V45 仙台三 男子サーブル 第 2 位 (因幡 大瀬戸 八木田) 1 回戦 V45－34 仙台南 準決勝 V45－40 仙台 決勝 21－V45 仙台三 補欠代表決定戦 33－V45 仙台南 女子フルーレ 第 2 位 (小島 浅野 高橋 中村 森本) 準決勝 V34－33 仙台三 決勝 22－V42 気仙沼 補欠代表決定戦 V45－42 仙台一 女子エベ 優 勝 (寺崎 中塚 中村 森本 大和田) 1 回戦 V45－29 仙台三 準決勝 V45－31 気仙沼 決勝 V45－34 仙台一 女子サーブル (小島 浅野 高橋 宮本 角谷) 1 回戦 36－V45 仙台一 令和元年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (個人戦) 第49回中嶋杯争奪フルーレ杯 第75回国民体育大会第一次選考会 (2020/1/18～1/19) 男子エベ 優 勝 小泉 奏太 女子エベ 第 3 位 森本 香穂 女子サーブル 第 2 位 小島 清楓 第44回全国高等学校選抜フェンシング大会北海道・東北予選会 (2020/1/24～1/26) 女子団体エベ 第 5 位 (寺崎 中塚 中村 森本 大和田) 1 勝 3 敗 (39－V45 米沢興譲館・山形 V36－26 一関第二・ 岩手 19－V45 聖霊女子・秋田 32－V45 黒石・青森)	卓 球 部	決勝トーナメント 2 回戦 仙台二 3－0 泉館山 3 回戦 仙台二 2－3 利府 惜敗 女子学校対抗 予選トーナメント 1 回戦 仙台二 1－3 仙台一 第 1 次敗者復活戦 1 回戦 仙台二 3－2 仙台南 県大会出場決定 男子シングルス 千葉②遠藤②小杉②川村②伊東②石森① 県大会出場決定 男子ダブルス 川村②・遠藤② 県大会出場決定 女子シングルス 高橋② 県大会出場決定 女子ダブルス 岩根②・高橋② 県大会出場決定 宮城県高等学校新人卓球大会 (2019/11/7～11/9) 男子学校対抗 2 回戦 仙台二 3－0 気仙沼向洋 3 回戦 仙台二 3－0 石巻好文館 4 回戦 仙台二 1－3 古川学園 県ベスト 8 1 回戦 仙台二 3－1 仙台南 2 回戦 2 回戦仙台二 3－2 気仙沼 3 回戦 仙台二 2－3 石巻北 県ベスト 16 男子シングルス 川村②石森① 5 回戦敗退 県ベスト 16 千葉② 4 回戦敗退 遠藤②小杉② 3 回戦敗退 伊東② 1 回戦敗退 男子ダブルス 川村②・遠藤② 3 回戦敗退 ベスト 8 女子シングルス 高橋② 2 回戦敗退 女子ダブルス 岩根②・高橋② 2 回戦敗退 ベスト 16
	令和元年度第68回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (2019/5/31～6/3) 男子個人エベ 第 2 位 赤石 丞★ 第 3 位 小泉 奏太★ 男子個人サーブル 第 3 位 菊地 駿希★ 第 3 位 進藤 尚由起 男子学校対抗フルーレ (赤石 菊地 進藤 鄭 小泉) 1 回戦 2－V (気仙沼) 女子個人フルーレ 第 3 位 原 さくら★ 第 8 位 及川 和花 女子個人エベ 第 1 位 松岡 彩奈☆ 第 2 位 及川 和花★ 女子個人サーブル 第 3 位 佐藤 名美佳★ 女子学校対抗フルーレ (原 及川 今野 菊池 佐藤) 第 3 位 準決勝 2－V (仙台一) (☆インターハイ出場権獲得, ★東北大会出場権獲得) 令和元年度第57回東北高等学校フェンシング選手権大会 (2019/6/21～6/24) 男子個人エベ 第 5 位 小泉 奏太 (予選プール 4 勝 1 敗 トーナメント 2 回戦 11－V15 坪 (田名部・青森)) 男子個人エベ 赤石 丞 (予選プール 1 勝 4 敗) 男子個人サーブル 第 7 位 菊地 駿希 (予選プール 3 勝 2 敗 トーナメント 1 回戦 V15－14 早坂 (山形東・山形) トーナメント 2 回戦 7－V15 齋藤 (仙台 三・宮城)) 女子個人フルーレ 原 さくら (予選プール 3 勝 2 敗 トーナメント 1 回戦 V15－10 長崎 (秋田北鷹・秋田)) 女子個人エベ 第 7 位 松岡 彩奈 (予選プール 2 勝 2 敗 トーナメント 1 回戦 V15－11 城山 (田名部・青森) トーナメント 2 回戦 10－V15 成田 (聖霊 女子・秋田)) 女子個人エベ 及川 和花 (予選プール 1 勝 4 敗) 女子個人サーブル 第 7 位 佐藤 名美佳 (予選プール 2 勝 2 敗 トーナメント 1 回戦 7－V15 酒井 (聖霊女子・秋田))		令和元年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技 第65回全国高等学校フェンシング選手権大会 (2019/7/26～7/30) 女子個人エベ 第 7 位 松岡 彩奈 (予選プール 3 勝 1 敗 予選トーナメント 1 回戦 V 9－8 畑 (盈進・広島) 予選トーナメント 2 回戦 V15－8 後藤 (黒 石・青森) 決勝トーナメント準々決勝 10－V15 寺山 (乙訓・ 京都)) 令和元年度宮城県民体育大会フェンシング競技 (2019/8/10～8/11) 少年男子団体 第 3 位 仙台二高 A (小泉 大瀬戸 八木田) 少年女子団体 第 4 位 仙台二高 A (小島 宮本 森本) 少年女子ジュニア 第 1 位 鈴木 百音 第56回仙台市民総合体育大会フェンシング競技 (2019/10/5～10/6) 少年男子シニア 優勝 小泉 奏太 第 7 位 因幡 涼平 少年男子団体 仙台二高 B (因幡 小沢 八木田) 1 回戦 5V－3 仙台南高 B
	令和元年度宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (2019/5/10～5/11) 男子個人 板垣 4 回戦、高山 3 回戦、黒澤 3 回戦、 齋藤 1 回戦敗退 女子個人戦 箱島準々決勝、鹿野 4 回戦、今松 2 回戦、 小野 1 回戦敗退。 男子団体予選リーグ 対仙台南 2－2 引き分け 対富谷 2－0 勝 対仙台三 0－3 負 女子団体予選リーグ 対仙台二華 2－1 勝 対明成 1－2 負 決勝トーナメント 1 回戦 対ドミニコ 0－3 負。 宮城県高等学校総合体育大会剣道競技 (2019/6/1～6/3) 男子個人 芹澤初戦、三浦 4 回戦敗退 女子個人 鹿野・小野初戦敗退 男子団体予選リーグ 対松島 3－1 勝 対登米総合 5－0 勝 男子団体決勝トーナメント	卓 球 部	
剣 道 部		フェンシング部	

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
ヨ ッ ト 部	令和元年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技 (2019/8/12～8/16) 男子420級 第26位 第74回国民体育大会セーリング競技宮城県予選 (2019/7/13～7/14) 白山遥基・高橋優斗 組 第6位 第74回国民体育大会セーリング競技宮城県予選 (2019/7/13～7/14) 渡邉凌大・熊谷凌太郎 組 第7位 令和元年度宮城県高等学校ヨット新人大会 (2019/10/19～10/20) 男子420級 第3位 2019年度北海道東北420級ヨット選手権大会 (2019/11/2～11/4) 渡邉凌大・高橋優斗 組 第13位 2019年度北海道東北420級ヨット選手権大会 (2019/11/2～11/4) 金子未夢・熊谷凌太郎 組 第15位	剣 道 部	1 回戦 対榴ヶ岡 3－1 勝 2 回戦 対利府 0－3 負 ベスト16 女子団体予選リーグ 対古川工業 3－0 勝 対生文大 1－3 負 国体予選剣道競技 (2019/7/12) 男子個人 齋藤・大川口 3 回戦敗退 女子個人 箱島 3 回戦敗退、鹿野 4 回戦敗退 ベスト16 宮城県高体連剣道専門部仙塩支部新人剣道大会 (2019/8/18) 男子団体 1 回戦対仙台三 0－4 負 女子団体 2 回戦対宮城一 2－0 勝 3 回戦対仙台三桜 3－1 勝 準決勝対ドミニコ 0－5 負 第3位 宮城県高等学校新人剣道大会 (2019/11/8～11/10) 男子個人 大川口初戦敗退、齋藤 3 回戦敗退 女子個人 小野初戦敗退、鹿野 4 回戦敗退 ベスト16 男子団体予選リーグ 対名取北 0－2 負 対仙台向山 3－0 勝 女子団体予選リーグ 対宮城学院 4－0 勝 対佐沼 0－0 引き分け 女子団体決勝トーナメント 1 回戦 対古川 0－2 負 ベスト12
	第68回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会 (2019/1/11～1/14) 平成30年度の結果 男子GSL 第1位千葉笙太郎 第7位渡部新 第8位瀬川凜 第13位目黒淳之介 女子GSL 第1位小林桃子 第3位納谷世恵羅 男子SL 第2位千葉笙太郎 第7位成田佑星 第8位中西進斗 第9位渡部新 第10位石橋賢 第11位瀬川凜 第14位目黒淳之介 女子SL 第3位小林桃子 第4位納谷世恵羅 総合 男子第2位 女子第2位 千葉笙太郎 小林桃子 納谷世恵羅 (インターハイ出場) 千葉笙太郎 成田佑星 渡部新 中西進斗 瀬川凜 小林桃子 納谷世恵羅 (東北大会出場) 第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会宮城県予選会 (2019/1/18～1/20) 平成30年度の結果 男子GSL 第4位千葉笙太郎 第10位成田佑星 第11位中西進斗 第13位渡部新 第14位位瀬川凜 第15位石橋賢 第16位木村青空 第18位目黒淳之介 女子GSL 第3位小林桃子 第5位納谷世恵羅 千葉笙太郎 小林桃子 (国体出場) 第41回東北高等学校スキー選手権大会 (2019/1/22～1/24) 平成30年度の結果 男子GSL 第35位千葉笙太郎 第59位中西進斗 第60位渡部新 第61位成田佑星 女子GSL 第21位小林桃子 第24位納谷世恵羅 男子SL 第52位渡部新 第53位成田佑星 第54位中西進斗 第55位瀬川凜 女子SL 第15位小林桃子 第20位納谷世恵羅 第68回全国高等学校総合体育大会スキー競技会 (2019/2/8～2/12) 平成30年度の結果 女子GSL 第58位小林桃子 第81位納谷世恵羅 男子SL 第86位千葉笙太郎 女子SL 第53位小林桃子 第74位納谷世恵羅 第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会 (2019/2/14～2/17) 平成30年度の結果 男子GSL 第107位千葉笙太郎		第127回仙塩地区高等学校柔道大会 (2019/4/28) 男子団体 (佐藤、猪股、大城) 1 回戦敗退 男子個人 佐藤 (66kg) 1 回戦、猪股 (66kg) 1 回戦、 大城 (90kg) 1 回戦 第125回柔道定期戦 (2019/5/18) 3 人勝ち抜き・4 分 大城×－○松沢、猪股×－○松沢、佐藤×－○松沢 第68回宮城県高等学校総合体育大会柔道競技 (2019/6/1～6/3) 男子団体予選リーグ 仙台二 1－4 登米総産、 仙台二 0－5 白石工業、 仙台二 3－2 小牛田農林 男子個人 安達 (60kg) 2 回戦、佐藤 (66kg) 1 回戦、 猪股 (66kg) 1 回戦、阿部 (73kg) 1 回戦、 大城 (90kg) 1 回戦 女子個人 加藤 1 回戦 第42回全国高等学校柔道選手権宮城県大会 (2019/12/14～12/15) 男子個人 安達 (60kg) 2 回戦、佐藤 (66kg) 2 回戦、 阿部 (73kg) 1 回戦、大城 (無差別) 1 回戦 女子個人 加藤 1 回戦
ス キ ー 部	第31回全国高等学校選抜スキー大会 (2019/3/12～3/15) 平成30年度の結果 女子SG 第67位小林桃子 女子GSL 第28位小林桃子 第58回宮城県高等学校スキー新人大会 (2019/3/15～3/17) 平成30年度の結果 男子GSL 第5位千葉笙太郎 第7位中西進斗 第8位成田佑星 第9位渡部新 第10位石橋賢 第11位瀬川凜 第14位木村青空 第15位目黒淳之介 女子GSL 第1位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽 男子SL 第1位千葉笙太郎 第6位中西進斗 第8位瀬川凜 第9位石橋賢 第10位成田佑星 第11位目黒淳之介 女子SL 第2位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽	柔 道 部	第35回仙塩地区高等学校春季弓道大会 (2019/5/17～5/18) 男子個人 戸塚健太郎、織田実希也が県大会出場権獲得 第68回宮城県高等学校総合体育大会弓道競技 (2019/6/1～6/3) 男子団体 二次予選敗退 男子個人 戸塚健太郎二次予選敗退、 織田実希也準々決勝敗退 女子団体 一次予選敗退 第35回仙塩地区高等学校秋季弓道大会 (2019/10/17～10/18) 男子個人 織田実希也、佐藤匠真、川島柊吾が 県大会出場権獲得 女子個人 林怜奈が県大会出場権獲得 令和元年度宮城県高等学校新人大会弓道競技 (2019/11/1～11/3) 男子団体 第5位、射道優秀賞 男子個人 佐藤匠真一次予選敗退、 織田実希也二次予選敗退 女子団体 二次予選敗退 女子個人 林怜奈一次予選敗退
	第31回全国高等学校選抜スキー大会 (2019/3/12～3/15) 平成30年度の結果 女子SG 第67位小林桃子 女子GSL 第28位小林桃子 第58回宮城県高等学校スキー新人大会 (2019/3/15～3/17) 平成30年度の結果 男子GSL 第5位千葉笙太郎 第7位中西進斗 第8位成田佑星 第9位渡部新 第10位石橋賢 第11位瀬川凜 第14位木村青空 第15位目黒淳之介 女子GSL 第1位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽 男子SL 第1位千葉笙太郎 第6位中西進斗 第8位瀬川凜 第9位石橋賢 第10位成田佑星 第11位目黒淳之介 女子SL 第2位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽		第68回宮城県高等学校総合体育大会 (2019/6/1～6/3) 男子縦走 7 位 令和元年度第49回宮城県高等学校体育連盟登山専門部新人大会 (2019/10/11～10/13) 男子縦走 4 位
ス キ ー 部	第31回全国高等学校選抜スキー大会 (2019/3/12～3/15) 平成30年度の結果 女子SG 第67位小林桃子 女子GSL 第28位小林桃子 第58回宮城県高等学校スキー新人大会 (2019/3/15～3/17) 平成30年度の結果 男子GSL 第5位千葉笙太郎 第7位中西進斗 第8位成田佑星 第9位渡部新 第10位石橋賢 第11位瀬川凜 第14位木村青空 第15位目黒淳之介 女子GSL 第1位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽 男子SL 第1位千葉笙太郎 第6位中西進斗 第8位瀬川凜 第9位石橋賢 第10位成田佑星 第11位目黒淳之介 女子SL 第2位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽	山 岳 部	令和元年度宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技 (2019/6/1～6/2) 男子コンバインド 第3位 男子420級 第2位 令和元年度東北高等学校ヨット選手権大会 (2019/6/14～6/16) 男子コンバインド 第6位 男子420級 第3位 令和元年度宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技 (2019/6/1～6/2) 男子420級 第2位 令和元年度東北高等学校ヨット選手権大会 (2019/6/14～6/16) 男子420級 第3位
	第31回全国高等学校選抜スキー大会 (2019/3/12～3/15) 平成30年度の結果 女子SG 第67位小林桃子 女子GSL 第28位小林桃子 第58回宮城県高等学校スキー新人大会 (2019/3/15～3/17) 平成30年度の結果 男子GSL 第5位千葉笙太郎 第7位中西進斗 第8位成田佑星 第9位渡部新 第10位石橋賢 第11位瀬川凜 第14位木村青空 第15位目黒淳之介 女子GSL 第1位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽 男子SL 第1位千葉笙太郎 第6位中西進斗 第8位瀬川凜 第9位石橋賢 第10位成田佑星 第11位目黒淳之介 女子SL 第2位小林桃子 第3位納谷世恵羅 第4位馬場美羽		令和元年度宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技 (2019/6/1～6/2) 男子コンバインド 第3位 男子420級 第2位 令和元年度東北高等学校ヨット選手権大会 (2019/6/14～6/16) 男子コンバインド 第6位 男子420級 第3位 令和元年度宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技 (2019/6/1～6/2) 男子420級 第2位 令和元年度東北高等学校ヨット選手権大会 (2019/6/14～6/16) 男子420級 第3位

部活動の記録／学芸部成績

部 名	成 績
物 理 部	第72回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (2019/11/7) 部会長賞 最終選考会最優秀賞「超音波による浮遊物と音波の反射距離」 1 年 松宮広空 野口航 我妻竜真 神田敦郎 千葉明輝 優秀賞 「プリズムでUVカット」 2 年 佐藤良多 千葉一真 白鳥宏静 優秀賞 「リニアモーターの活用」 2 年 渡邊直毅 鈴木朝陽 大河原優樹 大久保彰真 金澤航希
化 学 部	第72回宮城県生徒理科研究発表会 (2019/11/7) 最優秀賞 伊藤舞音 優秀賞 今野日智・齋藤さくら・浅野早希・岩本瑞生・相澤希美・藤村茉莉香
生 物 部	第72回宮城県生徒理科研究発表会 (2019/11/7) 「絹糸精練による廃水の利用」優秀賞 加藤可識 「婚姻色の変化について」優秀賞 藤原裕大 岩井渉 林陽希 「人の手によって土壌微生物の活動を活性化させるには」優秀賞 高田みのり 岩淵結有
地 学 部	第72回宮城県生徒理科研究発表会 (2019/11/7) 部会長賞「仙台市内における火山豆石の産状の比較分析」2 年 結城せな・2 年 相澤紗羅 優秀賞 「火山豆石の精製条件を探る」1 年 橋沼宗慶・太田創
吹 奏 楽 部	吹奏楽コンクール宮城県大会予選仙台青葉・泉地区大会 (2019/7/20) 高等学校の部銀賞 吹奏楽コンクール宮城県大会 (2019/8/1) 高等学校の部銀賞 アンサンブルコンテスト第53回仙台青葉地区大会 (2019/12/7) 金管八重奏金賞 アンサンブルコンテスト第53回仙台青葉地区大会 (2019/12/7) サキソフォン三重奏銀賞 アンサンブルコンテスト第53回仙台青葉地区大会 (2019/12/7) クラリネット六重奏銀賞 アンサンブルコンテスト第53回宮城県大会 (2020/1/19) 金管八重奏銀賞
合 唱 部	第86回NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール (2019/8/18) 奨励賞
囲 碁 部	第13回全国高等学校囲碁選抜大会 (2019/3/16～3/17) 男子団体：第 5 位 仙台第二高等学校 (菊地秋 千葉直人 阿部雅史 安田光希) 女子団体：第 8 位 仙台第二高等学校 (大宮七虹 大西寿々音 佐藤琴音 堅田佳乃) 女子個人：第 5 位 大宮七虹 九路盤：男子：第 8 位 菊地秋 女子：第12位 大西寿々音 第43回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会 (2019/6/22～6/24) 団体戦 男子 1 位 仙台第二高等学校 (菊地秋 千葉直人 阿部雅史) 女子 1 位 仙台第二高等学校 (大宮七虹 大西寿々音 佐藤琴音) 個人 男子 1 位 千葉直人 女子 1 位 大宮七虹 2 位 佐藤琴音 第43回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 (2019/7/22～7/24) 女子個人 第 7 位 大宮七虹 第43回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 (さが総文2019) (2019/7/27～7/28) 女子個人 第 5 位 大宮七虹 第33回全国高等学校囲碁選抜大会 東北地区選手権大会 (2019/11/8～11/9) 男子団体 第 2 位 主将 菊地秋 三将 阿部雅史 女子団体 第 1 位 主将 大宮七虹 副将 中村遥 三将 宮田悠紀菜 優秀選手賞 大宮七虹 中村遥 女子級位者線 第 3 位 佐藤天音
将 棋 部	第36回宮城県高校新人将棋大会 (2019/11/10) 1 年都築 優勝, 2 年佐治 第 2 位, 1 年今本 第 3 位, 全国大会, 東北大会へ 女子 2 年石井 準優勝, 全国大会, 東北大会へ 1 年佐治 第 3 位 全国大会, 東北大会へ 第55回全国高等学校将棋選手権宮城県予選 (2019/5/3～5/4) 男子個人 3 年古藤 優勝, 女子個人 1 年 都築 優勝 全国大会へ, 女子団体 石井, 佐藤, 佐治, 優勝 全国大会へ 第55回全国高等学校将棋選手権 兼 第42回全国高等学校総合文化祭将棋部門 (2019/7/30～7/31) 男子個人 3 年古藤, 女子個人 1 年 都築, 女子団体 石井, 佐藤, 佐治 予選敗退 第20回東北地区高等学校将棋新人大会 (2019/12/20～12/21) 女子個人 1 年 都築 第20回東北地区高等学校将棋新人大会 (2019/12/20～12/21) 女子個人 2 年 佐治 第20回東北地区高等学校将棋新人大会 (2019/12/20～12/21) 女子個人 1 年 今本

将 棋 部	第28回全国高等学校将棋新人大会（2020/2/6～2/8） 女子個人 1年 都築第28回全国高等学校将棋新人大会（2020/2/6～2/8） 女子個人 2年 佐治 第28回全国高等学校将棋新人大会（2020/2/6～2/8） 女子個人 1年 今本
書 道 部	ふれあい書道展（2019/8/10） 筆都大賞 吉田千優 特選 内海早貴・小松新奈・大関菜奈 第68回宮城県高等学校書道展覧会（2019/12/3～12/8） 國府田あつ子・尾形陽菜乃 推薦 小松新奈・田村三奈・内海早貴・大関菜奈 特選 鹿野愛・刈部佑・佐々木美緒・島田美美 金賞
放 送 部	第66回NHK杯全国高校放送コンテスト（全国大会）（2019/7/22～7/25） 朗読部門 小山華 出場 第38回宮城県高校放送コンテスト新人大会（2019/11/13） ラジオキャンペーン部門 最優秀賞「きらめく川辺に」・優秀賞（3位）「暗闇に見つけた光」 朗読部門 小山華（1年）優秀賞（2位）、石塚未希子（1年）優良賞、佐々木夏帆（2年）優良賞、 アナウンス部門 武田美礼（2年）優良賞 第23回東北高等学校放送コンテスト福島大会（東北大会）（2020/2/1～2/2） ラジオキャンペーン部門 最優秀賞「暗闇で見つけた光」 ラジオキャンペーン部門 優良賞（4位相当）「きらめく川辺に…」 朗読部門 奨励賞（決勝出場）石塚 未希子（1－6） 朗読部門 奨励賞（決勝出場）小山 華（1－6） 朗読部門出場 佐々木夏帆（2－8）・アナウンス部門出場 武田美礼（2－8）
軽 音 楽 部	第25回宮城県高校対抗バンド合戦県大会（2019/7/15） グランプリ受賞 バンド名「脳内狂騒」 楽曲「愛染め」（オリジナル楽曲） メンバー 2年 本田大明・塩月菜々瀬・佐々木嶺・元木崇・佐々木壇 第7回全国高等学校軽音楽コンテスト（2019/8/21） 優秀賞 バンド名「脳内狂騒」 楽曲「愛染め」（オリジナル楽曲） メンバー 2年 本田大明・塩月菜々瀬・佐々木嶺・元木崇・佐々木壇 第16回宮城県高校対抗バンド合戦新人大会（2019/11/9） 第3位 バンド名「キューショアマガミ」 楽曲「メガシャキ」（コピー） メンバー 2年：小成田光・今野 愛・浅田知宏・阿倍悠太郎 1年：坂元愛・高山有羽
社 会 部	第63回 宮城県高等学校社会科教育研究会 生徒研究発表会（2019/11/6） 県最優秀賞 『共同園記碑から見る二高史・日本史』 亀谷洋基（2年） 県奨励賞 『広告は如何に私たちを操るのか』 善波緑工（2年）
そ の 他	小倉百人一首競技かるた第41回全国高等学校選手権大会宮城県予選（2019/6/5） 団体優勝 全国大会へ 小倉百人一首競技かるた第41回全国高等学校選手権大会（2019/7/20～7/21） 団体 ベスト16 個人 榎森B級優勝 第43回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門（さが総文2019）（2019/7/31） 宮城県チーム予選敗退 木皿百合子、日原広太郎

今春の人事異動

▼転出された先生方▲

黒崎 顕治 教諭 (保健体育)

(美田園高校 教諭)

竹内 透史 教諭 (国語)

(昇任) 角田支援学校 教頭

市川 文浩 総括主幹 (事務次長)

(昇任) 岩沼高等学園 事務室長

乾 豊 主事

(山元町立坂元小学校 主事)

兼山元町学校事務支援室 主事

水口 俊彦 非常勤講師 (音楽)

(任期満了)

藤井 広之 非常勤講師 (物理)

(任期満了)

吉田 裕幸 非常勤講師 (保健体育)

(採用) 登米総合産業高校 教諭

織茂 麻子 事務補助

(任期満了)

▼転入された先生方▲

後藤 順一 校長

(仙台西高校 校長)

鈴木 信隆 教諭 (国語)

(泉高校 教諭)

佐藤 広樹 教諭 (保健体育)

(柴田農林高校川崎校 教諭)

佐藤 康弘 総括主幹 (事務次長)

(教育庁生涯学習課 課長補佐)

鈴木 唯 主事 (新規採用)

齋藤 雅樹 非常勤講師 (物理)

(新規採用 6h)

猪狩 綾 非常勤講師 (音楽)

(新規採用 8h)

後藤 太一 非常勤講師 (保健体育)

(新規採用 12h)

三好 憲俊 事務補助

▼退職された職員▲

久保 義洋 校長

村上 悟 教諭 (英語)

(再任用 仙台第二高校)

▼再任用された先生方▲

吉原 満 教諭 (数学)

村上 悟 教諭 (英語)

森 功 技師 (庁務)

同窓会公式サイト (ホームページ) 更に充実

仙台二高の Web サイト

<http://www.sendainiko-dousoukai.com> が更に充実しております。

第一に「住所・連絡先変更」コーナーを新設し、卒業当時の住所から転居した方などが簡単に变更登记出来るようになりました。

第二に「同窓会関連 行事予定一覧 (支部会・OB 会・同期会等も含む)」コーナーを新設致しました。同窓会の公式行事を初め各支部会やサークルなどの OB 会の開催予定を掲示しております。

同期会の開催案内なども掲載できますので、
info@sendainiko-dousoukai.com まで開催情報をお寄せください。
同窓生全体の情報のポータルサイトとして、一層のご活用をお願い致します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



仙台二高同窓会メーリングリストの利用について

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うために、メーリングリスト機能を利用しています。利用に当たっては事前登録が必要ですので、詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/sendai2dousoukai/>

なお、「Yahoo」をご利用されていた方も、改めて「Google」での登録を行って下さい。

二高への交通の便<仙台駅前から>

▶仙台市営地下鉄 (東西線) ・ ・ 国際センター駅下車後徒歩約 4 分、運賃 200 円

▶仙台市営バス ・ ・ 仙台駅前バスプール 16 番から 730、739 系統『二高・県美術館前』下車、運賃 180 円

▶仙台市営市内観光循環バス『るーぷる仙台』 ・ ・ 仙台駅前バスプール 15-3 番、運賃 (1 回券) 260 円、(1 日券) 620 円。
(但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等とを大きく経由しています。)

編集後記

二〇一九年末から世界中に猛威をふるっています新型コロナウイルスの影響により東京オリンピックをはじめ様々な行事が延期や中止になっています。このような状況下でも皆様のご協力のおかげで同窓会報 53 号を無事に発刊することができました。心から御礼申し上げます。

まだ先の見えない状況下ではありますが、同窓会員の皆様のご健康とご多幸、ご活躍をご祈念申し上げます。

今年は母校が百二十周年を迎えました。同窓会の益々の発展のため皆様の変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

遠藤 康浩 (高41回)